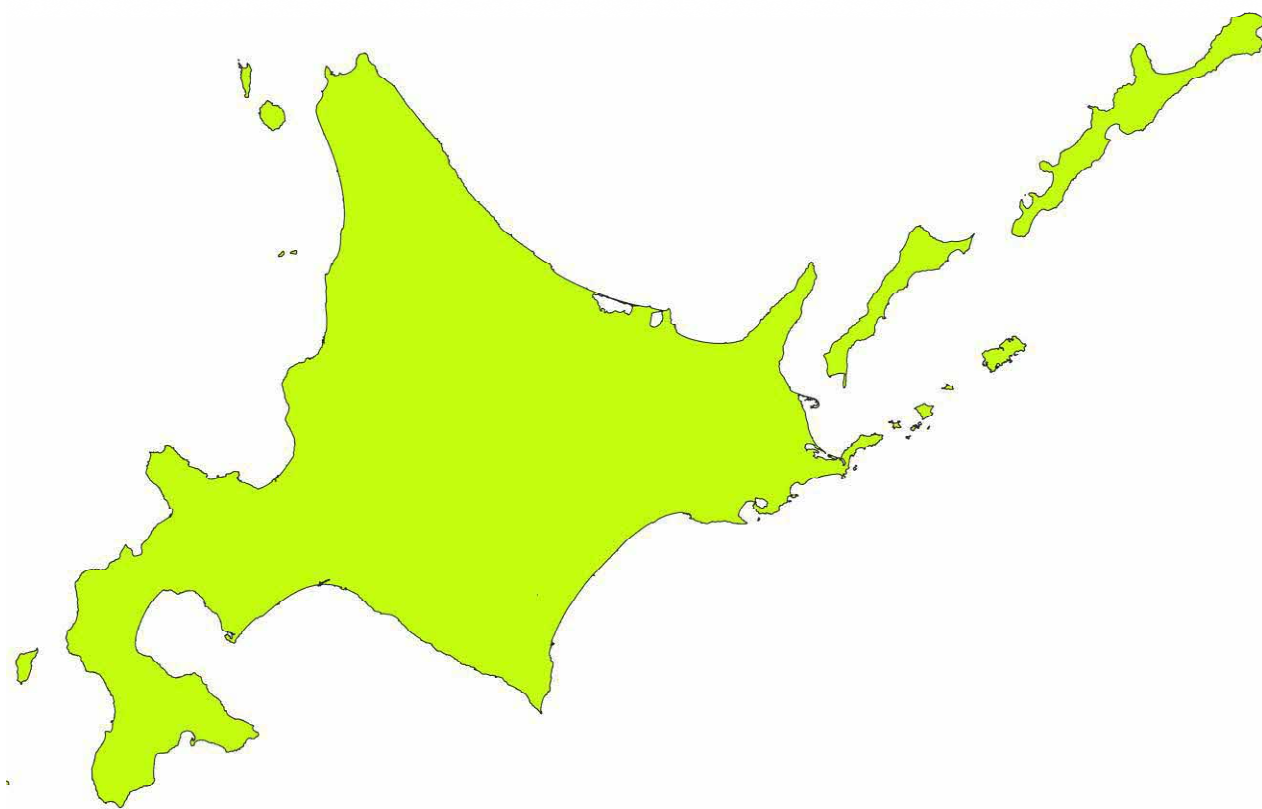


北海道における

教員育成指標



平成29年12月
(令和5年3月改訂)

北海道教育委員会

－ 目 次 －

I	教員育成指標の策定	
1	策定の背景及び趣旨	…P 1
2	教員育成の考え方	…P 2
3	指標策定の目的	
4	指標の対象	…P 3
5	北海道における「求める教員像」	…P 4
6	北海道における「目指す学校管理職像」	
II	指標の内容	
1	指標の種類	…P 5
	(1) 教員育成指標スタンダード	
	(2) 学校種別・職種別の指標	
	(3) 教員の指標と学校管理職の指標の関係性	
2	指標の構造	…P 6
	(1) キャリアステージ（指標の横軸）の設定	
	(2) キーとなる資質能力（指標の縦軸）の設定	
3	キーとなる資質能力及び期待される具体の姿	…P 7
4	教員育成指標（スタンダード）	…P 8
5	校種別教員育成指標	
	(1) 幼稚園教員育成指標	…P10
	(2) 小学校・中学校・義務教育学校教員育成指標	…P12
	(3) 高等学校教員育成指標	…P14
	(4) 特別支援学校教員育成指標	…P16
6	職種別教員育成指標	
	(1) 養護教諭教員育成指標	…P18
	(2) 栄養教諭教員育成指標	…P20
	(3) 学校管理職育成指標	…P22
III	「育成指標」を踏まえた人材育成の取組	…P23
1	養成段階	
2	採用段階	
3	研修段階	

I 教員育成指標の策定

1 策定の背景及び趣旨

子どもの成長を担う教員等には、いかに時代が変化しようとも、その時代の背景や要請を踏まえつつ、次代を担う子どもたちを育てるという極めて重要な使命や責任をもつとともに、子どもたちの人格の形成を担う存在であることから、その職責の重さを絶えず自覚し、自らが子どもたちの道しるべとなるべく、常に資質能力の向上を図り続けることが大切です。

今日、本道の学校現場は、教育課題が複雑化、多様化し、教員等が抱える業務も多くなっている中で、教員等の大量退職・大量採用等を背景とした、教員採用選考検査の倍率低下や教員等の不足により欠員が生じる事態が見られるほか、学校組織の年齢構成や経験年数の不均衡により、従来、各学校の同僚性の下で行われてきた経験豊富な教員等から若手教員等への知識及び技術等の伝達が困難になるなど、教員等を巡る環境が大きく変化しています。

一方、グローバル化や情報化の進展など、社会の急速な変化に目を向けると、先行き不透明で予測困難な時代が到来する中、教員等は、技術の発達や新たなニーズなど学校教育を取り巻く環境の変化を前向きに受け止め、教職生涯を通じて探究心をもちつつ、自律的かつ継続的に新しい知識技能を学び続け、子ども一人一人の学びを最大限に引き出し、子どもの主体的な学びを支援する伴走者としての役割を果たすことが大切です。

変化の激しい時代に、「新たな教師の学びの姿」として求められているのは、教員等一人一人が、自らの専門性を高めていく営みを自覚しながら、誇りをもって主体的に研修に打ち込むことです。

教員等の資質能力の向上を図ることは、子どもの教育を充実することに他なりません。子どもの学びと教員等の学びは相似形となることが大切であり、「個別最適な学び」や「協働的な学び」の充実を通じて、「主体的・対話的で深い学び」を実現することは、子どもの学びのみならず、教員等の学びにもまた求められており、教員等の学びは、子どもの学びのロールモデルとなることが重要です。

北海道教育委員会（以下「道教委」という。）では、平成28年（2016年）の教育公務員特例法の一部改正に伴い、国の「公立の小学校等の校長及び教員としての資質の向上に関する指標の策定に関する指針」（以下「国の指針」という。）を参酌し、本道の実情に応じた「北海道における教員育成指標」を策定するとともに、この指標を踏まえた「北海道教職員研修計画」を策定し、道内の教育関係者との連携・協働による体系的な人材育成を推進してきたところですが、令和4年（2022年）に、「新たな教師の学びの姿」の実現に向け、国の指針が改正されたことを踏まえ、今般、本道の全ての教育関係者で、教員等一人一人が主体的に資質能力の向上を図る際の目標を共有するため、ここに「北海道における教員育成指標」（以下「指標」という。）を改訂します。

2 教員育成の考え方

予測困難な時代に、複雑化・多様化する学校教育に対応することができる質の高い教職員集団を構築するためには、教員等一人一人が、主体性が尊重された心理的安全性の下、子どもたちへの深い教育的愛情に裏付けされた日常の教育実践や自己研鑽を進めるとともに、教員同士の学び合いを通して、時代の変化に的確に対応するために、教員等として共通的に求められる資質能力の向上や個性・長所の伸長を図ることが大切です。

そのため、教員等一人一人の経験年数や専門性、目標等に応じ、「現場での経験」と多様な研修の機会を効果的に組み合わせ、個別最適に学びを進めていくとともに、「現場での経験」を重視し、学校課題に対応した協働的な学びを組織全体で行い、成果を共有することにより、学び合う同僚性の下で、資質能力を高めていくこと、ひいては、学校の教育活動の充実につなげていくことが重要です。

3 指標策定の目的

本指標は、「すべては北海道の子どもたちのために」を合い言葉に、北海道の教員等一人一人の資質能力の向上を目指して策定するものです。

「2 教員育成の考え方」で示す教員等の資質能力の向上を進めるためには、教員等一人一人が、教職としての目標をもって、日常の教育実践を行うとともに、教員同士が同じ方向に向かって学び合える環境を構築することが大切です。

道教委では、本指標の改訂に当たり、教員養成課程のある大学や各種校長会・PTAの代表者からなる「北海道教員育成協議会」において、「本道の教員育成の考え方」や「本道の教員等に求められる資質能力」について検討を重ねました。

本指標は、本道の全ての教育関係者が、教員等の資質能力について目標を共有するため、「教育的愛情などの教職の素養」「全ての子どもたちの資質能力を着実に高めるための専門性」「学校の教育目標を組織的に達成するための連携・協働」に関わる資質能力について、向上の目安として示しています。

なお、本指標で、資質能力の目安を示すことは、人事評価制度における評価の規準や教職としての到達目標などを表すものではありません。

道教委では、本指標の目的が達成できるよう、「北海道における『求める教員像』」（以下「求める教員像」という。）や「キーとなる資質能力」を、大学関係者をはじめ、市町村教育委員会、学校、保護者等と共有し、教員等の養成・採用・研修の一体的な充実に向けた取組を積極的に推進していきます。

国の指針における「指標策定の目的」

- ・高度専門職としての職責、経験及び適性に応じて、教員が身に付けるべき資質能力を明確化する。
- ・教員一人一人のキャリアパスが多様であるとの前提の下、教職生活全体を俯瞰しつつ、自らの職責、経験及び適性に応じて更に高度な段階を目指す手掛かりとなるものとする。
- ・教員が担う役割が高度に専門的であることを改めて示す。
- ・研修を通じて教員の資質能力の向上を図る目安とする。

※「国の指針」を一部抜粋し、道教委が箇条書きで整理

4 指標の対象

本指標は、教育公務員特例法により、教員等の任命権者に策定が義務付けられています。

同法及び国の指針では、指標の対象とする公立の小学校等の教員等の範囲について、以下のとおり示されています。

- (1) 公立の小学校等の範囲は、公立の小学校、中学校、義務教育学校、高等学校、中等教育学校、特別支援学校、幼稚園及び幼保連携型認定こども園である。
- (2) 教員等の範囲は、校長（園長を含む。）、副校長（副園長を含む。）、教頭、主幹教諭（幼保連携型認定こども園の主幹養護教諭及び主幹栄養教諭を含む。）、指導教諭、教諭、助教諭、養護教諭、栄養教諭、主幹保育教諭、指導保育教諭、保育教諭、助保育教諭及び講師である。
※「国の指針」の一部抜粋

道教委が策定する指標の対象とする教員等は、道教委が任命権者となる「公立学校の校長及び副校長、教頭、主幹教諭、教諭、養護教諭、栄養教諭、講師（常時勤務の者に限る）等」です。

なお、市町村教育委員会（以下「市町村教委」という。）が任命権者となる「市町村立の公立学校（幼稚園及び幼保連携型認定こども園を含む。）の教員等（園長等を含む。）」については、道教委が策定する指標の対象ではありませんが、市町村教委の判断の下、幼稚園教諭を対象とした指標なども含めて、参考として活用できるよう、道教委の指標を策定しています。

5 北海道における「求める教員像」

北海道における「求める教員像」

【教職を担うに当たり必要となる素養に関連する観点】

○教育者として、強い使命感・倫理観と、子どもへの深い教育的愛情を、常に持ち続ける教員

【教育又は保育の専門性に関連する観点】

○教育の専門家として、実践的指導力や専門性の向上に、主体的に取り組む教員

【連携及び協働に関連する観点】

○学校づくりを担う一員として、地域等とも連携・協働しながら、課題解決に取り組む教員

「求める教員像」は、大学での教員養成や現職教員の教育実践、研修などの基盤として、全ての教育関係者で共有したい姿です。

例えば、北海道の教員等を志す学生にとっては、学修を進める上での方向性を示すもの、北海道の教育公務員となった教員等にとっては、実践や研修を深める上での目標となるもの、保護者や地域にとっては、北海道の教員等としての姿を理解し、学校と連携・協働する関係を構築していくためのものです。

この教員像は、北海道の教員等として画一的な姿を求めるのではなく、教員等が長所や個性を生かしながら生涯にわたり資質能力の向上を図っていくための目安として示したもので、一人一人の教員等が、「求める教員像」を基盤としながら、個性豊かで人間味にあふれる教員等として、子どもたちへの深い教育的愛情をもった教育の担い手となることが大切です。

6 北海道における「目指す学校管理職像」

北海道における「目指す学校管理職像」

○深い教育的愛情や豊かな教育経験、確かな職業倫理を基にリーダーシップを発揮する管理職

○学校ビジョンを具現化し、教育活動の質の向上・教職員の資質能力の向上を図る体制整備を進める管理職

○家庭・地域と連携・協働し、人的・物的・財政的・情動的な資源を効果的に活用する管理職

「北海道における『目指す学校管理職像』」（以下「目指す学校管理職像」という。）は、学校・園の最高責任者として、子ども一人一人への深い教育的愛情や人権意識を有し、教員等一人一人の個性や長所等を生かしながら、保護者や地域等との連携・協働の下、学校の教育目標を組織的に達成するためのリーダーとして理想となる姿を示すものです。

Ⅱ 指標の内容

1 指標の種類

(1) 教員育成指標スタンダード

学校種や職種に関わらず、教員等として共通的に身に付けるべき資質能力について、学校種・職種に共通の基本的な指標として「教員育成指標スタンダード」を作成しました。

- ・学校種：幼稚園、幼保連携型認定こども園、小学校、中学校、義務教育学校、高等学校、中等教育学校、特別支援学校を指す。
- ・職種：校長、副校長、教頭、主幹教諭、教諭、養護教諭、栄養教諭、講師（常時勤務の者に限る。）等を指す。

(2) 学校種別・職種別の指標

学校種・職種に応じた専門性が関わる資質能力については、「教員育成指標スタンダード」を基盤として、学校種及び職種に応じた指標を作成しました。

- ・学校種別：幼稚園及び幼保連携型認定こども園、小・中学校及び義務教育学校、高等学校、特別支援学校ごとの指標（中等教育学校については、小・中学校及び義務教育学校、高等学校の指標を目的に応じて活用）
- ・職種別：スタンダード及び学校種別の指標は、一般教諭を対象としていることから、学校管理職及び養護教諭、栄養教諭の指標を別に策定

(3) 教員の指標と学校管理職の指標の関係性

指標は、北海道の教員等が、子どもの成長を促す直接の担い手として目指す目標、資質向上の目安であり、教員及び学校管理職などの全ての教員等が、教職段階に応じ、教職生涯を通じて、身に付けるべき資質能力を示すものです。

一方で、学校管理職の指標は、北海道の学校管理職が、教員の指標を基盤として、学校経営・学校運営の責任者として目指す目標、資質向上の目安であり、教員等一人一人の個性や長所等を踏まえ、学校の教育目標を組織的に達成するためのリーダーとして身に付けるべき資質能力を示すものです。

2 指標の構造

(1) キャリアステージ（指標の横軸）の設定

広域で小規模校が散在する本道において、教員等一人一人に求められる役割は、所属する学校の規模や教職員の年齢構成等によって異なり、一律に年齢や経験年数を基準として、「教職経験年数1～5年を『初任段階』」などと設定することはなじまないことから、教職の段階のおおよその目安として、次の4つの段階を設けています。

- ・養成段階：教員等の養成を担う大学等との連携・協働による人材育成を推進するため、教職のキャリアステージの最も初期の段階として「養成段階」を設定
- ・初任段階：初任段階教員研修の受講対象となる時期を中心とした「初任段階」を設定
- ・中堅段階：中堅教諭等資質向上研修の受講対象となる時期を中心とした「中堅段階」を設定
- ・ベテラン段階：学校運営の中核を担いつつ、若手教員等への指導などを行う時期を中心とした「ベテラン段階」を設定

(2) キーとなる資質能力（指標の縦軸）の設定

①指標策定時における「キーとなる資質能力」の設定

平成29年（2017年）の指標の策定の際に、「求める教員像」の実現に向けて、本道の教育課題や学校現場の現状なども踏まえた身に付けるべき具体的な資質能力を明確にするため、教員養成課程のある大学や各種校長会・PTAの代表者からなる「北海道教員育成協議会」における検討や全道的なアンケート・ヒアリングを行い、「キーとなる資質能力」を設定しました。

②国の指針改正を踏まえた「キーとなる資質能力」の改訂

令和4年（2022年）の国の指針改正を踏まえ、令和5年（2023年）3月をもって教員の指標及び学校管理職の指標を改訂します。

教員の指標については、国の指針が示す「教師に共通的に求められる資質能力」を中心に「キーとなる資質能力」を再整理します。

学校管理職の指標については、国の指針において、「学校組織のリーダーとして、教員の人材育成について、大きな責任と役割を担っており、教員の自律的な成長を促すべき存在」とする校長の在り方を踏まえ、校長及び副校長・教頭、管理職候補者の「目指す学校管理職像」を設定するとともに、「キーとなる資質能力」を再整理します。

3 キーとなる資質能力及び期待される具体の姿

【教職を担うに当たり必要となる素養に関連する観点】

教育者として、強い使命感・倫理観と、子どもへの深い教育的愛情を、常に持ち続ける教員		
キーとなる資質能力	教育的愛情	・子ども一人一人の個性を尊重し、よさや可能性、成長の余地などに目を向け、それを伸ばす
	使命感や責任感・倫理観	・子ども一人一人の学びに責任をもち、時代に応じた教育、学校の社会的役割及び教育公務員として遵守すべき法令等を理解し、職務上の義務を果たす
	総合的人間力	・社会体験や保護者、地域との関わりの中で、人間性、社会性、協調性を高める
	教職に対する強い情熱・人権意識	・教職への誇りをもち、人権意識に基づき、教育活動において全ての子どもを尊重する
	主体的に学び続ける姿勢	・情報収集や各種研修等を通して、必要な資質能力を身に付けるために学び続けようとする

【教育又は保育の専門性に関連する観点】

教育の専門家として、実践的指導力や専門性の向上に、主体的に取り組む教員			
キーとなる資質能力	教科等や教職に関する専門的な知識・技能	・教職の意義や教員の役割、教科等や職務内容に関する専門的な知識・技能を身に付け、職務に生かす	
	授業力	・学習指導要領等を踏まえ、子どもの心身の発達や学習過程について理解し、ねらいを明確にした学習者中心の授業を展開する ・子どもの興味・関心を引き出す教材研究や協働した授業研究を行う	
	今日的な教育課題への対応力	主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業改善	・「主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業改善」について理解し、授業づくり・実践・評価・改善等を行う
		カリキュラム・マネジメント	・カリキュラム・マネジメントの意義を理解し、教育活動の不断の検証・改善を行う
		道徳教育の充実	・道徳教育の目標を理解し、道徳科をはじめ、学校の教育活動全体を通じて、道徳教育を実践する
	外国語教育・国際理解教育の充実	・外国語教育や国際理解教育の重要性や課題を理解し、実践に生かす	
	子ども理解力	・子どもに積極的に関わり、子ども一人一人の心身の発達の過程や特徴、背景や環境を含めて的確に子どもを捉える	
	生徒指導・進路指導力	・個や集団を指導するための手立てを理解し、個々の悩みや思いを共感的に受け止め、学校生活への適応や人格の成長を援助する ・子どもの個性や能力の伸長と健全な心身の育成を通して、自己実現を図る指導を行う	
	学級経営力	・子ども同士のコミュニケーションを促進し、計画的に望ましい集団をつくり上げる ・子どもたちとの信頼関係を構築して、それぞれの可能性や活躍の場を引き出す	
	特別な配慮や支援を必要とする子どもへの対応力	・特別な配慮や支援を必要とする子どもの特性等を理解し、実践に生かす ・組織的な対応に必要な知識・支援方法を理解し、学习上、生活上の支援を工夫する	
ICTや情報・教育データを利活用する力	・授業や校務等でICTを効果的に活用するとともに、子どもの学習の改善を図るため、教育データを適切に活用する ・子どもの情報活用能力を育成する授業実践を行う		

【連携及び協働に関連する観点】

学校づくりを担う一員として、地域等とも連携・協働しながら、課題解決に取り組む教員		
キーとなる資質能力	学校づくりを担う一員としての自覚と協調性	・職業観や人間関係のほか、公共心や社会通念などの重要性を理解し、それに基づき行動する
	コミュニケーション能力(対人関係能力を含む)	・考えや学校の方針等を分かりやすく伝えるとともに、相手の意図を理解し意思疎通を図り、良好な人間関係を構築する
	組織的・協働的な課題対応・解決能力	・自らの学びと実践を省察を通して身に付けた課題対応・解決能力を生かし、他の教職員と積極的に関わり、学校運営の持続的な改善に求められる役割を果たす ・危機管理の知識や視点を身に付け、職務に生かす
	地域等との連携・協働力	・子どもの家庭及び地域社会の状況や自身や学校の強み・弱みを理解し、保護者や関係機関等と連携・協働して取り組む
	人材育成に貢献する力	・支え合える環境をつくるとともに、他の教職員を積極的に支援する

4 教員育成指標（スタンダード）

※「養成段階」…「養成段階」には、新規に採用する教員に対して任命権者が求める資質能力を掲載

求める教員像	教員育成指標（スタンダード）				
	キャリアステージ キーとなる資質能力	養成段階※	初任段階	中堅段階	ベテラン段階
教育者として、強い使命感・倫理観と、子どもへの深い教育的愛情を、常に持ち続ける教員	教育的愛情	・子ども一人一人に愛情をもち、よさや可能性などに目を向けようとしている。	・子どもへの愛情に基づき、一人一人の個性を尊重し、よさや可能性、成長の余地などに目を向け、伸ばしている。	・子どもへの愛情に基づき、学校（園）の教育活動を推進している。	・子どもへの愛情に基づき、学校（園）の教育活動を推進するため、職場全体の意識が高まるような働きかけを行っている。
	使命感や責任感・倫理観	・子どもの育ちと学びに責任をもち、教育公務員として遵守すべき法令や職務、時代に応じた教育、学校（園）の社会的役割・サービス等を理解している。	・子どもの育ちと学びに責任をもち、教育公務員に係る法令等を遵守するとともに、時代に応じた教育、学校（園）の社会的役割・サービス等を理解し、職務上の義務を果たしている。	・子どもの育ちと学びに責任をもち、教育公務員に係る法令等を遵守するとともに、時代に応じた教育、学校（園）の社会的役割・サービス等を深く理解し、職務上の義務を果たし、子どもや保護者等の期待に応える教育活動を行っている。	・子どもの育ちと学びに責任をもち、教育公務員に係る法令等を遵守するとともに、時代に応じた教育、学校（園）の社会的役割・サービス等を深く理解し、職務上の義務を果たすことはもとより、職場全体の意識が高まるような働きかけを行っている。
	総合的人間力	・社会体験等を通して、人間性、社会性、協調性を身に付けている。	・上司や同僚、保護者との関わりの中で、人間性、社会性、協調性を高めている。	・上司や同僚、保護者、地域との関わりの中で、人間性、社会性、協調性をバランスよく高めている。	・教職員相互に、人間性、社会性、協調性をバランスよく高め合える校（園）内体制を整えている。
	教職に対する強い情熱・人権意識	・人権意識に基づき、地域のボランティア活動や実習先の学校（園）の教育活動において、全ての子どもを尊重しようとしている。	・人権意識に基づき、地域の行事や社会教育活動、学校（園）の教育活動において、全ての子どもを尊重するとともに、教職への誇りを有している。	・人権意識に基づき、全ての子どもを尊重するとともに、教職への誇りを有している。	・人権意識に基づき、全ての子どもを尊重するとともに、教職への誇りを有し、職場全体の意識が高まるような働きかけを行っている。
	主体的に学び続ける姿勢	・研修の法的な位置付けや、情報の収集・選択・活用の重要性を理解している。	・初任段階教員研修等や情報の収集・選択・活用を通して、実践的指導力など、初任段階に求められる資質能力を身に付けるため、学び続けようとしている。	・学校（園）の課題を理解し、解決するための校（園）内外の研修に積極的に参加するとともに、適切な情報の活用・再構成などを通して、高度な指導力など、中堅段階に求められる資質能力を高めるため、学び続けようとしている。	・組織的・協働的な体制づくりの重要性を理解し、組織マネジメント等の研修に積極的に参加するとともに、適切な情報の活用・再構成などを通して、人材育成や地域との連携・協働など、ベテラン段階に求められる資質能力を高めるため、学び続けようとしている。
教育の専門家として、実践的指導力や専門性の向上に、主体的に取り組む教員	教科等（保育）や教職に関する専門的な知識・技能	・教職の意義や教員の役割、職務内容等に関する基礎的な知識・技能を身に付けている。 ・教科等（保育）の内容に関する専門的な知識・技能を身に付けている。 ・自律的に研修を進めるための基礎的な知識・技能を身に付けている。	・教職の意義や教員の役割、職務内容等に関する知識・技能を身に付け、職務に生かしている。 ・教科等（保育）の内容に関する専門的な知識・技能を身に付け、授業（保育）に生かしている。 ・自らの課題解決に向け、自律的に研修を進めている。	・教職の意義や教員の役割、職務内容等に関する深い知識・技能を身に付け、職務に生かしている。 ・教科等（保育）の内容に関する専門的な知識・技能を身に付け、授業（保育）に生かすとともに、初任段階の教員に指導助言している。 ・学校（園）の課題の解決に向け、自律的に研修を進めている。	・教職の意義や教員の役割、職務内容等に関する深い知識・技能を身に付け、職務や職場の意識向上に生かしている。 ・教科等（保育）の内容に関する専門的な知識・技能を校（園）内研修など職場全体に生かしている。 ・学校（園）の課題の解決に向け、自律的に研修を進める校（園）内体制を整えている。
	授業力	・学習者中心の授業の創造に向け、ねらいを明確にした指導計画を作成し、意図的な授業（保育）を展開することの重要性を理解している。	・学習者中心の授業の創造に向け、深い学びにつながる教材研究や学習過程の検討を同僚と協働して行い、ねらいを明確にした指導計画を作成し、子どもの学習状況を捉えて意図的・計画的に授業（保育）を展開している。	・学習者中心の授業の創造に向け、各教科等の専門性を生かして、ねらいを達成できる指導計画を作成し、子どもの学習状況を捉えて意図的・計画的に授業（保育）を展開するとともに、他の教員の授業力向上にも取り組んでいる。	・学習者中心の授業の創造に向け、各教科等の専門性を生かして、ねらいを達成できる指導計画を作成し、子どもの学習状況を捉えて意図的・計画的に授業（保育）を展開するとともに、授業力向上に係る校（園）内研修の中心的役割を担っている。
	今日的な教育課題への対応力	・「主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業改善」への対応力	・「主体的・対話的で深い学び」が求められる背景や重要性について理解している。	・「主体的・対話的で深い学び」が求められる背景や重要性について理解し、授業（保育）改善に取り組んでいる。	・「主体的・対話的で深い学び」が求められる背景や重要性を踏まえ、授業（保育）改善に係る学校（園）の課題を理解し、その解決に向けて、学校（園）全体の授業（保育）改善に取り組んでいる。
	「カリキュラム・マネジメント」への対応力	・「カリキュラム・マネジメント」が求められる背景や重要性について理解している。	・「カリキュラム・マネジメント」が求められる背景や重要性について理解し、教育活動の不断の検証・改善に生かしている。	・学校（園）における「カリキュラム・マネジメント」推進上の課題を理解し、その解決に向けて教育活動の不断の検証・改善に取り組んでいる。	・学校（園）における「カリキュラム・マネジメント」推進上の課題解決に向けて教育活動の不断の検証・改善に取り組むとともに、範を示したり、助言したりしている。
	「道徳教育の充実」への対応力	・「道徳教育の充実」が求められる背景や重要性について理解している。	・「道徳教育の充実」が求められる背景や重要性について理解し、学校（園）教育活動全体を通じて、道徳教育を実践している。	・学校（園）における道徳教育推進上の課題を理解し、その解決に向け、学校（園）教育活動全体を通じて、道徳教育に取り組んでいる。	・学校（園）における道徳教育推進上の課題解決に向け、学校（園）教育活動全体を通じて、道徳教育に取り組むとともに、範を示したり、助言したりしている。
	「外国語教育・国際理解教育の充実」への対応力	・「外国語教育・国際理解教育の充実」が求められる背景や重要性について理解している。	・「外国語教育・国際理解教育の充実」が求められる背景や重要性について理解し、実践に生かしている。	・学校（園）における外国語教育・国際理解教育推進上の課題を理解し、その解決に向けて取り組んでいる。	・学校（園）における外国語教育・国際理解教育推進上の課題解決に取り組むとともに、範を示したり、助言したりしている。
子ども理解力	・子どもの心身の発達の過程や特徴、子ども理解の意義や重要性を理解し、子ども一人一人に積極的に関わろうとしている。	・子どもの心身の発達の過程や特徴、子ども一人一人のよさや可能性、成長の余地をはじめ、家庭環境などを理解して子どもと向き合っている。	・子どもの心身の発達の過程や特徴、子どもを取り巻く様々な環境や背景を含め、子ども一人一人を的確に理解している。	・子どもの心身の発達の過程や特徴、子ども一人一人を的確に理解するとともに、教職員相互に情報を共有できるような校（園）内体制を整えている。	

	生徒指導・進路指導力	<ul style="list-style-type: none"> 個や集団を指導する意義や重要性、手立てを理解している。 子どもの個性や能力の伸長と健全な心身の育成を通して、子どもの自己実現を図る指導の重要性を理解している。 	<ul style="list-style-type: none"> 子どもの発するサインを見逃すことなく予防的な対応を行い、個々の悩みや思いを共感的に受け止めるなど、学校（園）生活への適応や人格の成長への援助を行っている。 子どもの個性や能力の伸長と健全な心身の育成を通して、子どもの自己実現を図る指導を行っている。 	<ul style="list-style-type: none"> 校（園）内での情報共有に努めながら客観的な事実の把握を行い、個々の悩みや思いを共感的に受け止めるなど、学校（園）生活への適応や人格の成長への援助を行っている。 子どもの個性や能力の伸長と健全な心身の育成を通して、子どもの自己実現を図る指導を行うとともに、自校（園）の生徒指導・進路指導上の課題解決に向けて取り組んでいる。 	<ul style="list-style-type: none"> 学校（園）の生徒指導・進路指導上の課題解決に向け、個々の悩みや思いを共感的に受け止め、学校（園）生活への適応や人格の成長への援助を行うとともに、具体的な方策を提案している。 子どもの個性や能力の伸長と健全な心身の育成を通して、子どもの自己実現を図る指導を行うとともに、範を示したり、これまでの経験を踏まえた「心構え」や「コツ」を伝えたりしている。
	学級経営力	<ul style="list-style-type: none"> 年間を見通した学級経営の重要性、学級担任の役割や職務内容を理解している。 	<ul style="list-style-type: none"> 子ども理解に基づきながら、子どもたちとの信頼関係を構築し、それぞれの可能性を引き出し、活躍の場をつくる学級経営を計画的に行い、よりよい学びの環境をつくっている。 	<ul style="list-style-type: none"> 子ども理解に基づきながら、子どもたちとの信頼関係を構築し、それぞれの可能性を引き出し、活躍の場をつくる学級経営を計画的に行い、望ましい集団をつくっている。 	<ul style="list-style-type: none"> 子ども理解に基づきながら、子どもたちとの信頼関係を構築し、それぞれの可能性を引き出し、活躍の場をつくる望ましい学級経営について範を示したり、これまでの経験を踏まえた「心構え」や「コツ」を伝えたりしている。
	特別な配慮や支援を必要とする子どもへの対応力	<ul style="list-style-type: none"> 特別支援教育の動向や特別な配慮や支援を必要とする子どもの特性等について理解している。 	<ul style="list-style-type: none"> 特別支援教育の動向や特別な配慮や支援を必要とする子どもの特性等を理解し、教育的ニーズ等に対応している。 組織的な対応に必要な知識・具体的な支援内容・体制を理解し、学習上、生活上の支援を工夫している。 	<ul style="list-style-type: none"> 特別な配慮や支援を必要とする子どもの特性等を深く理解し、教育的ニーズ等に的確に対応している。 学校（園）における特別支援教育推進上の課題を理解し、その解決に向けて組織的に学習上、生活上の支援を工夫している。 	<ul style="list-style-type: none"> 特別な配慮や支援を必要とする子どもの特性等を深く理解するとともに、全ての子どもを俯瞰（ふかん）し、教育的ニーズ等に的確に対応している。 学校（園）における特別支援教育推進上の課題解決に向けた組織的な学習上、生活上の支援の工夫などについて、範を示したり、助言したりしている。
	ICTや情報・教育データを利活用する力	<ul style="list-style-type: none"> 授業や校（園）務等でICTを効果的に活用する目的と方法や重要性について理解している。 	<ul style="list-style-type: none"> 授業や校（園）務等でICTを効果的に活用するとともに、子どもの学習の改善を図るため、教育データを適切に活用している。 子どもの情報活用能力（情報モラル・情報セキュリティを含む）を育成するための授業実践等を行っている。 	<ul style="list-style-type: none"> 学校（園）における「ICTや情報・教育データの利活用」推進上の課題を理解し、その解決に向けて取り組んでいる。 授業や校（園）務等でICTや教育データを効果的に活用するとともに、学校（園）全体のICTの効果的な活用促進に向けて取り組んでいる。 	<ul style="list-style-type: none"> 学校（園）における「ICTや情報・教育データの利活用」推進上の課題解決に中心となって取り組んでいる。 授業や校（園）務等でICTや教育データを効果的に活用するとともに、範を示したり、助言したりしている。
学校づくりを担う一員として、地域等とも連携・協働しながら、課題解決に取り組む教員	学校（園）づくりを担う一員としての自覚と協調性	<ul style="list-style-type: none"> 教育公務員として、社会と協働して職務を円滑に遂行する上で必要となる職業観や人間関係のほか、公共心や社会通念などの重要性を理解している。 	<ul style="list-style-type: none"> 教育公務員として、社会と協働して職務を円滑に遂行する上で必要となる職業観や人間関係のほか、公共心や社会通念などの重要性を理解し、それに基づき行動している。 	<ul style="list-style-type: none"> 教育公務員として、社会と協働して職務を円滑に遂行する上で必要となる職業観や人間関係のほか、公共心や社会通念などの重要性を深く理解し、それに基づき行動するとともに、経験の浅い教職員に指導助言を行っている。 	<ul style="list-style-type: none"> 教育公務員として、社会と協働して職務を円滑に遂行する上で必要となる職業観や人間関係のほか、公共心や社会通念などの重要性を深く理解し、それに基づき職場で率先して行動するとともに、社会性を向上させる職場意識を高める校（園）内体制を整えている。
	コミュニケーション能力（対人関係能力を含む）	<ul style="list-style-type: none"> 自らの考えや意見などを相手に分かりやすく伝えるとともに、相手の考えの傾聴に努めるなど、互いを尊重して意思疎通を行い、良好な人間関係を構築している。 	<ul style="list-style-type: none"> 自らの考えや学校（園）の方針等を子どもや保護者等に分かりやすく伝えるとともに、相手の意図を正確に理解し、円滑に意思疎通を行い、良好な人間関係を構築している。 自らの職務の充実に向け、上司や同僚などに相談や質問等を積極的に行っている。 	<ul style="list-style-type: none"> 自らの考えや学校（園）の方針等を子どもや保護者、地域等に分かりやすく説明するとともに、相手が意図する背景を含めて正確に理解し、新たな方向性を見出すなど発展的な意思疎通を行い、良好な人間関係を構築している。 上司や同僚などと建設的な意見交換を行っている。 	<ul style="list-style-type: none"> 自らの考えや学校（園）の方針等を子どもや保護者、地域等の立場にも配慮しながら分かりやすく説明するとともに、相手が意図する背景を含めて正確に理解し、課題解決に向けて共通認識に立ち実際の行動につながる意思疎通を行い、良好な人間関係を構築している。 上司や同僚などと建設的で未来志向的な意見交換を行っている。
	組織的・協働的な課題対応・解決能力	<ul style="list-style-type: none"> 自らの学びと実践の省察や集団の中で協働的に行動することを通じて、課題対応・解決能力を身に付けていくことの重要性を理解している。 生命・心身を脅かす事故災害等、危機管理の知識や視点をもつことの重要性を理解している。 	<ul style="list-style-type: none"> 自らの学びと実践の省察をし、組織の一員としての自覚をもって、学校（園）づくりに関わり、求められる役割を果たしている。 生命・心身を脅かす事故災害等、危機管理の知識や視点を備え、教育活動に生かしている。 	<ul style="list-style-type: none"> 自らの学びと実践の省察を通じて身に付けた課題対応・解決能力を生かし、組織の一員として積極的に学校（園）づくりに関わり、互いのよさを認め合い、それぞれの課題対応・解決能力を生かして計画的に課題解決に当たっている。 生命・心身を脅かす事故災害等、危機管理の知識や視点を備え、安心安全な教育活動を推進している。 	<ul style="list-style-type: none"> 全校（園）的な視野に立ち、他の教職員とも協働しながら、一人一人の役割と課題対応・解決能力を生かして、持続可能で計画的に課題解決に当たっている。 生命・心身を脅かす事故災害等、危機管理の知識や視点を備えるとともに、安心安全な学校運営のため、校（園）内体制を整えている。
	地域等との連携・協働力	<ul style="list-style-type: none"> 保護者や地域等との連携の重要性を理解している。 	<ul style="list-style-type: none"> 子どもの家庭及び地域社会の状況や自身や学校（園）の強み・弱みの理解に基づき、保護者や地域等との連携の重要性を理解し、積極的に関わり、連携・協働して対応している。 	<ul style="list-style-type: none"> 子どもの家庭及び地域社会の状況や自身や学校（園）の強み・弱みの深い理解に基づき、保護者・地域・関係機関等との関わりを深め、連携・協働して対応している。 	<ul style="list-style-type: none"> 子どもの家庭及び地域社会の状況や自身や学校（園）の強み・弱みの深い理解に基づき、保護者・地域・関係機関等との連携・協働のネットワークを構築して学校（園）の運営に当たっている。
	人材育成に貢献する力	<ul style="list-style-type: none"> 他者の意見やアドバイスに耳を傾け、互いに高め合おうとしている。 	<ul style="list-style-type: none"> 他の教職員との関わりを大切にし、疑問点や悩みを相談したり、共有し合ったりしながら、互いに高め合おうとしている。 	<ul style="list-style-type: none"> 互いの課題や悩みに気づき、支え合える環境をつくるとともに、経験の浅い教職員に指導助言やモデルリーダーの育成に取り組んでいる。 	<ul style="list-style-type: none"> 人材育成の重要性を踏まえ、支え合える環境をつくるとともに、経験の浅い教職員への指導助言やモデルリーダーの育成に取り組んでいる。

5 校種別教員育成指標

(1) 幼稚園教員育成指標

※「養成段階」…「養成段階」には、新規に採用する教員に対して任命権者が求める資質能力を掲載

求める教員像	幼稚園教員育成指標				
	キャリアステージ キーとなる資質能力	養成段階※	初任段階	中堅段階	ベテラン段階
教育者として、強い使命感・倫理観と、子どもへの深い教育的愛情を、常に持ち続ける教員	教育的愛情	・子ども一人一人に愛情をもち、よさや可能性などに目を向けようとしている。	・子どもへの愛情に基づき、一人一人の個性を尊重し、よさや可能性、成長の余地などに目を向け、伸ばしている。	・子どもへの愛情に基づき、園の教育・保育活動を推進している。	・子どもへの愛情に基づき、園の教育・保育活動を推進するため、職場全体の意識が高まるような働きかけを行っている。
	使命感や責任感・倫理観	・子どもの育ちと学びに責任をもち、教育公務員として遵守すべき法令や職務、時代に応じた教育・保育、園の社会的役割・サービス等を理解している。	・子どもの育ちと学びに責任をもち、教育公務員に係る法令等を遵守するとともに、時代に応じた教育・保育、園の社会的役割・サービス等を理解し、職務上の義務を果たしている。	・子どもの育ちと学びに責任をもち、教育公務員に係る法令等を遵守するとともに、時代に応じた教育・保育、園の社会的役割・サービス等を深く理解し、職務上の義務を果たし、子どもや保護者等の期待に応える教育・保育活動を行っている。	・子どもの育ちと学びに責任をもち、教育公務員に係る法令等を遵守するとともに、時代に応じた教育・保育、園の社会的役割・サービス等を深く理解し、職務上の義務を果たすことはもとより、職場全体の意識が高まるような働きかけを行っている。
	総合的人間力	・社会体験等を通して、人間性、社会性、協調性を身に付けている。	・上司や同僚、保護者との関わりの中で、人間性、社会性、協調性を高めている。	・上司や同僚、保護者、地域との関わりの中で、人間性、社会性、協調性をバランスよく高めている。	・教職員相互に、人間性、社会性、協調性をバランスよく高め合える園内体制を整えている。
	教職に対する強い情熱・人権意識	・人権意識に基づき、地域のボランティア活動や実習先の園の教育・保育活動において、全ての子どもを尊重しようとしている。	・人権意識に基づき、地域の行事や社会教育活動、園の教育・保育活動において、全ての子どもを尊重するとともに、教職への誇りを有している。	・人権意識に基づき、全ての子どもを尊重するとともに、教職への誇りを有している。	・人権意識に基づき、全ての子どもを尊重するとともに、教職への誇りを有し、職場全体の意識が高まるような働きかけを行っている。
	主体的に学び続ける姿勢	・研修の法的な位置付けや、情報の収集・選択・活用の重要性を理解している。	・初任段階教員研修等や情報の収集・選択・活用を通して、実践的指導力など、初任段階に求められる資質能力を身に付けるため、学び続けようとしている。	・園の課題を理解し、解決するための園内外の研修に積極的に参加するとともに、適切な情報の活用・再構成などを通して、高度な指導力など、中堅段階に求められる資質能力を高めるため、学び続けようとしている。	・組織的・協働的な体制づくりの重要性を理解し、組織マネジメント等の研修に積極的に参加するとともに、適切な情報の活用・再構成などを通して、人材育成や地域との連携・協働など、ベテラン段階に求められる資質能力を高めるため、学び続けようとしている。
教育の専門家として、実践的指導力や専門性の向上に、主体的に取り組む教員	教育・保育や教職に関する専門的な知識・技能	・教職の意義や教員の役割、職務内容等に関する基礎的な知識・技能を身に付けている。 ・教育・保育の内容に関する専門的な知識・技能を身に付けている。 ・自律的に研修を進めるための基礎的な知識・技能を身に付けている。	・教職の意義や教員の役割、職務内容等に関する知識・技能を身に付け、職務に生かしている。 ・教育・保育の内容に関する専門的な知識・技能を身に付け、教育・保育に生かしている。 ・自らの課題解決に向け、自律的に研修を進めている。	・教職の意義や教員の役割、職務内容等に関する深い知識・技能を身に付け、職務に生かしている。 ・教育・保育の内容に関する専門的な知識・技能を身に付け、教育・保育に生かすとともに、初任段階の教員に指導助言している。 ・園の課題の解決に向け、自律的に研修を進めている。	・教職の意義や教員の役割、職務内容等に関する深い知識・技能を身に付け、職務や職場の意識向上に生かしている。 ・教育・保育の内容に関する専門的な知識・技能を園内研修など職場全体に生かしている。 ・園の課題の解決に向け、自律的に研修を進める園内体制を整えている。
	教育・保育を展開する力	・子ども中心の教育・保育の創造に向け、ねらいを明確にした指導計画を作成し、意図的に環境を構成して教育・保育を展開することの重要性を理解している。	・子ども中心の教育・保育の創造に向け、深い学びにつながる教材研究や学びの過程の検討を同僚と協働して行い、ねらいを明確にした指導計画を作成し、子どもの興味・関心、学びの状況を捉えて意図的・計画的に環境を構成して教育・保育を展開している。	・子ども中心の教育・保育の創造に向け、専門性を生かして、ねらいを達成できる指導計画を作成し、子どもの興味・関心、学びの状況を捉えて意図的・計画的に環境を構成して教育・保育を展開するとともに、他の教員の教育・保育力向上にも取り組んでいる。	・子ども中心の教育・保育の創造に向け、専門性を生かして、ねらいを達成できる指導計画を作成し、子どもの興味・関心、学びの状況を捉えて意図的・計画的に環境を構成して教育・保育を展開するとともに、教育・保育力向上に係る園内研修の中心的役割を担っている。
	今日的な教育課題への対応力	「主体的・対話的で深い学びの実現に向けた教育・保育の改善」への対応力 「カリキュラム・マネジメント」への対応力 「道徳性、規範意識の芽生え」への対応力	・「主体的・対話的で深い学び」が求められる背景や重要性について理解している。 ・「カリキュラム・マネジメント」が求められる背景や重要性について理解している。 ・「道徳性、規範意識の芽生え」が求められる背景や重要性について理解している。	・「主体的・対話的で深い学び」が求められる背景や重要性について理解し、教育・保育の改善に取り組んでいる。 ・「カリキュラム・マネジメント」が求められる背景や重要性について理解し、教育・保育活動に生かしている。 ・「道徳性、規範意識の芽生え」が求められる背景や重要性について理解し、実践に生かしている。	・「主体的・対話的で深い学び」が求められる背景や重要性を踏まえ、教育・保育の改善に係る園の課題を理解し、その解決に向けて園全体の教育・保育の改善に取り組んでいる。 ・園における「カリキュラム・マネジメント」推進上の課題を理解し、その解決に向けて取り組んでいる。 ・園における「道徳性、規範意識の芽生え」の推進上の課題を理解し、その解決に向けて取り組んでいる。
	子ども理解力	・子どもの心身の発達の過程や特徴、子ども一人一人のよさや可能性、成長の余地を一人一人に積極的に関わろうとしている。	・子どもの心身の発達の過程や特徴、子ども一人一人のよさや可能性、成長の余地をはじめ、家庭環境などを理解して子どもと向き合っている。	・子どもの心身の発達の過程や特徴、子ども一人一人のよさや可能性、成長の余地をはじめ、家庭環境などを理解している。	・子どもの心身の発達の過程や特徴、子ども一人一人のよさや可能性、成長の余地をはじめ、家庭環境などを理解するとともに、教職員相互に情報を共有できるように園内体制を整えている。

	<p>発達や学びの連続性を見通す力</p> <ul style="list-style-type: none"> それぞれの時期にふさわしい指導の重要性を理解している。 	<ul style="list-style-type: none"> それぞれの時期にふさわしい指導を踏まえた教育・保育を展開している。 	<ul style="list-style-type: none"> 「幼児教育において育みたい資質・能力」及び「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿」を踏まえた教育・保育を展開するとともに、その趣旨を自らの実践を通して他の教員に啓発している。 	<ul style="list-style-type: none"> 「幼児教育において育みたい資質・能力」及び「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿」を踏まえた教育・保育を展開するとともに、その趣旨を踏まえた自らの実践を通して具体的な範を示したり、これまでの経験を踏まえた「心構え」などを伝えたりしている。
	<p>学級経営力</p> <ul style="list-style-type: none"> 年間を見通した学級経営の重要性、学級担任の役割や職務内容を理解している。 	<ul style="list-style-type: none"> 子ども理解に基づく学級経営を計画的に行い、よりよい学びの環境をつくっている。 	<ul style="list-style-type: none"> 子ども理解に基づく学級経営を計画的に行い、望ましい集団をつくっている。 	<ul style="list-style-type: none"> 望ましい学級経営について範を示したり、これまでの経験を踏まえた「心構え」などを伝えたりしている。
	<p>特別な配慮や支援を必要とする子どもへの対応力</p> <ul style="list-style-type: none"> 特別支援教育の動向や特別な配慮や支援を必要とする子どもの特性等について理解している。 	<ul style="list-style-type: none"> 特別支援教育の動向や特別な配慮や支援を必要とする子どもの特性等を理解し、教育的ニーズ等に対応している。 組織的な対応に必要な知識・具体的な支援内容・体制を理解し、学習上、生活上の支援を工夫している。 	<ul style="list-style-type: none"> 特別な配慮や支援を必要とする子どもの特性等を深く理解し、教育的ニーズ等に的確に対応している。 園における特別支援教育推進上の課題を理解し、その解決に向けて組織的に学習上、生活上の支援を工夫している。 	<ul style="list-style-type: none"> 特別な配慮や支援を必要とする子どもの特性等を深く理解するとともに、全ての子どもを俯瞰（ふかん）し、教育的ニーズ等に的確に対応している。 園における特別支援教育推進上の課題解決に向けた組織的な学習上、生活上の支援の工夫などについて、範を示したり、助言したりしている。
	<p>ICTや情報・教育・保育データを利活用する力</p> <ul style="list-style-type: none"> 教育・保育や園務等でICTを効果的に活用する目的と方法や重要性について理解している。 	<ul style="list-style-type: none"> 教育・保育や園務等でICTを効果的に活用するとともに、子どもの学習の改善を図るため、教育・保育データを適切に活用している。 子どもの情報活用能力（情報モラル・情報セキュリティを含む）の基礎を育成するための教育・保育実践等を行っている。 	<ul style="list-style-type: none"> 園における「ICTや情報・教育・保育データの利活用」推進上の課題を理解し、その解決に向けて取り組んでいる。 教育・保育や園務等でICTや教育・保育データを効果的に活用するとともに、園全体のICTの効果的な活用促進に向けて取り組んでいる。 	<ul style="list-style-type: none"> 園における「ICTや情報・教育・保育データの利活用」推進上の課題解決に中心となって取り組んでいる。 教育・保育や園務等でICTや教育・保育データを効果的に活用するとともに、範を示したり、助言したりしている。
<p>園づくりを担う一員として、地域等とも連携・協働しながら、課題解決に取り組む教員</p>	<p>園づくりを担う一員としての自覚と協調性</p> <ul style="list-style-type: none"> 教育公務員として、社会と協働して職務を円滑に遂行する上で必要となる職業観や人間関係のほか、公共心や社会通念などの重要性を理解している。 	<ul style="list-style-type: none"> 教育公務員として、社会と協働して職務を円滑に遂行する上で必要となる職業観や人間関係のほか、公共心や社会通念などの重要性を理解し、それに基づき行動している。 	<ul style="list-style-type: none"> 教育公務員として、社会と協働して職務を円滑に遂行する上で必要となる職業観や人間関係のほか、公共心や社会通念などの重要性を深く理解し、それに基づき行動するとともに、経験の浅い教職員に指導助言を行っている。 	<ul style="list-style-type: none"> 教育公務員として、社会と協働して職務を円滑に遂行する上で必要となる職業観や人間関係のほか、公共心や社会通念などの重要性を深く理解し、それに基づき職場で率先して行動するとともに、社会性を向上させる職場意識を高める園内体制を整えている。
	<p>コミュニケーション能力（対人関係能力を含む）</p> <ul style="list-style-type: none"> 自らの考えや意見などを相手に分かりやすく伝えるとともに、相手の考えの傾聴に努めるなど、互いを尊重して意思疎通を行い、良好な人間関係を構築している。 	<ul style="list-style-type: none"> 自らの考えや園の方針等を子どもや保護者等に分かりやすく伝えるとともに、相手の意図を正確に理解し、円滑に意思疎通を行い、良好な人間関係を構築している。 自らの職務の充実に向け、上司や同僚などに相談や質問等を積極的に行っている。 	<ul style="list-style-type: none"> 自らの考えや園の方針等を子どもや保護者、地域等に分かりやすく説明するとともに、相手が意図する背景を含めて正確に理解し、新たな方向性を見出すなど発展的な意思疎通を行い、良好な人間関係を構築している。 上司や同僚などと建設的な意見交換を行っている。 	<ul style="list-style-type: none"> 自らの考えや園の方針等を子どもや保護者、地域等の立場にも配慮しながら分かりやすく説明するとともに、相手が意図する背景を含めて正確に理解し、課題解決に向けて共通認識に立ち実際の行動につながる意思疎通を行い、良好な人間関係を構築している。 上司や同僚などと建設的で未来志向的な意見交換を行っている。
	<p>組織的・協働的な課題対応・解決能力</p> <ul style="list-style-type: none"> 自らの学びと実践の省察や集団の中で協働的に行動することを通じて、課題対応・解決能力を身に付けていくことの重要性を理解している。 生命・心身を脅かす事故災害等、危機管理の知識や視点をもつことの重要性を理解している。 	<ul style="list-style-type: none"> 自らの学びと実践の省察をし、組織の一員としての自覚をもって、園づくりに関わり、求められる役割を果たしている。 生命・心身を脅かす事故災害等、危機管理の知識や視点を備え、教育・保育活動に生かしている。 	<ul style="list-style-type: none"> 自らの学びと実践の省察を通じて身に付けた課題対応・解決能力を生かし、組織の一員として積極的に園づくりに関わり、互いのよさを認め合い、それぞれの課題対応・解決能力を生かして計画的に課題解決に当たっている。 生命・心身を脅かす事故災害等、危機管理の知識や視点を備え、安心安全な教育・保育活動を推進している。 	<ul style="list-style-type: none"> 全園的な視野に立ち、他の教職員とも協働しながら、一人一人の役割と課題対応・解決能力を生かして、持続可能で計画的に課題解決に当たっている。 生命・心身を脅かす事故災害等、危機管理の知識や視点を備えるとともに、安心安全な園運営のため、園内体制を整えている。
	<p>地域等との連携・協働力</p> <ul style="list-style-type: none"> 保護者や地域、小学校等との連携の重要性を理解している。 	<ul style="list-style-type: none"> 子どもの家庭及び地域社会の状況や自身や園の強み・弱みの理解に基づき、保護者や地域、小学校等との連携の重要性を理解し、積極的に関わり、連携・協働して対応している。 	<ul style="list-style-type: none"> 子どもの家庭及び地域社会の状況や自身や園の強み・弱みの深い理解に基づき、保護者・地域・関係機関・小学校等との関わりを深め、連携・協働して対応している。 	<ul style="list-style-type: none"> 子どもの家庭及び地域社会の状況や自身や園の強み・弱みの深い理解に基づき、保護者・地域・関係機関・小学校等との連携・協働のネットワークを構築して園の運営に当たっている。
	<p>人材育成に貢献する力</p> <ul style="list-style-type: none"> 他者の意見やアドバイスを耳を傾け、互いに高め合おうとしている。 	<ul style="list-style-type: none"> 他の教職員との関わりを大切にし、疑問点や悩みを相談したり、共有し合ったりしながら、互いに高め合おうとしている。 	<ul style="list-style-type: none"> 互いの課題や悩みに気づき、支え合える環境をつくるとともに、経験の浅い教職員に指導助言を行っている。 	<ul style="list-style-type: none"> 人材育成の重要性を踏まえ、支え合える環境をつくるとともに、経験の浅い教職員への指導助言やミドルリーダーの育成に取り組んでいる。

※幼稚園教員育成指標については、幼保連携型認定こども園においても活用することができます。

(2) 小学校・中学校・義務教育学校教員育成指標

※「養成段階」…「養成段階」には、新規に採用する教員に対して任命権者が求める資質能力を掲載

求める教員像	小学校・中学校・義務教育学校教員育成指標					
	キャリアステージ キーとなる資質能力	養成段階※	初任段階	中堅段階	ベテラン段階	
教育者として、強い使命感・倫理観と、子どもへの深い教育的愛情を、常に持ち続ける教員	教育的愛情	・子ども一人一人に愛情をもち、よさや可能性などに目を向けようとしている。	・子どもへの愛情に基づき、一人一人の個性を尊重し、よさや可能性、成長の余地などに目を向け、伸ばしている。	・子どもへの愛情に基づき、学校の教育活動を推進している。	・子どもへの愛情に基づき、学校の教育活動を推進するため、職場全体の意識が高まるような働きかけを行っている。	
	使命感や責任感・倫理観	・子どもの育ちと学びに責任をもち、教育公務員として遵守すべき法令や職務、時代に応じた教育、学校の社会的役割・服務等を理解している。	・子どもの育ちと学びに責任をもち、教育公務員に係る法令等を遵守するとともに、時代に応じた教育、学校の社会的役割・服務等を理解し、職務上の義務を果たしている。	・子どもの育ちと学びに責任をもち、教育公務員に係る法令等を遵守するとともに、時代に応じた教育、学校の社会的役割・服務等を深く理解し、職務上の義務を果たし、子どもや保護者等の期待に応える教育活動を行っている。	・子どもの育ちと学びに責任をもち、教育公務員に係る法令等を遵守するとともに、時代に応じた教育、学校の社会的役割・服務等を深く理解し、職務上の義務を果たすことはもとより、職場全体の意識が高まるような働きかけを行っている。	
	総合的人間力	・社会体験等を通して、人間性、社会性、協調性を身に付けている。	・上司や同僚、保護者との関わりの中で、人間性、社会性、協調性を高めている。	・上司や同僚、保護者、地域との関わりの中で、人間性、社会性、協調性をバランスよく高めている。	・教職員相互に、人間性、社会性、協調性をバランスよく高め合える校内体制を整えている。	
	教職に対する強い情熱・人権意識	・人権意識に基づき、地域のボランティア活動や実習先の学校の教育活動において、全ての子どもを尊重しようとしている。	・人権意識に基づき、地域の行事や社会教育活動、学校の教育活動において、全ての子どもを尊重するとともに、教職への誇りを有している。	・人権意識に基づき、全ての子どもを尊重するとともに、教職への誇りを有している。	・人権意識に基づき、全ての子どもを尊重するとともに、教職への誇りを有し、職場全体の意識が高まるような働きかけを行っている。	
	主体的に学び続ける姿勢	・研修の法的な位置付けや、情報の収集・選択・活用の重要性を理解している。	・初任段階教員研修等や情報の収集・選択・活用を通して、実践的指導力など、初任段階に求められる資質能力を身に付けるため、学び続けようとしている。	・学校の課題を理解し、解決するための校内外の研修に積極的に参加するとともに、適切な情報の活用・再構成などを通して、高度な指導力など、中堅段階に求められる資質能力を高めるため、学び続けようとしている。	・組織的・協働的な体制づくりの重要性を理解し、組織マネジメント等の研修に積極的に参加するとともに、適切な情報の活用・再構成などを通して、人材育成や地域との連携・協働など、ベテラン段階に求められる資質能力を高めるため、学び続けようとしている。	
教育の専門家として、実践的指導力や専門性の向上に、主体的に取り組む教員	教科等や教職に関する専門的な知識・技能	・教職の意義や教員の役割、職務内容等に関する基礎的な知識・技能を身に付けている。 ・教科等の内容に関する専門的な知識・技能を身に付けている。 ・自律的に研修を進めるための基礎的な知識・技能を身に付けている。	・教職の意義や教員の役割、職務内容等に関する知識・技能を身に付け、職務に生かしている。 ・教科等の内容に関する専門的な知識・技能を身に付け、授業に生かしている。 ・自らの課題解決に向け、自律的に研修を進めている。	・教職の意義や教員の役割、職務内容等に関する深い知識・技能を身に付け、職務に生かしている。 ・教科等の内容に関する専門的な知識・技能を身に付け、授業に生かすとともに、初任段階の教員に指導助言している。 ・学校の課題の解決に向け、自律的に研修を進めている。	・教職の意義や教員の役割、職務内容等に関する深い知識・技能を身に付け、職務や職場の意識向上に生かしている。 ・教科等の内容に関する専門的な知識・技能を校内研修など職場全体に生かしている。 ・学校の課題の解決に向け、自律的に研修を進める校内体制を整えている。	
	授業力	・学習者中心の授業の創造に向け、ねらいを明確にした指導計画を作成し、意図的な授業を展開することの重要性を理解している。	・学習者中心の授業の創造に向け、深い学びにつながる教材研究や学習過程の検討を同僚と協働して行い、ねらいを明確にした指導計画を作成し、子どもの学習状況を捉えて意図的・計画的に授業を展開している。	・学習者中心の授業の創造に向け、各教科等の専門性を生かして、ねらいを達成できる指導計画を作成し、子どもの学習状況を捉えて意図的・計画的に授業を展開するとともに、他の教員の授業力向上にも取り組んでいる。	・学習者中心の授業の創造に向け、各教科等の専門性を生かして、ねらいを達成できる指導計画を作成し、子どもの学習状況を捉えて意図的・計画的に授業を展開するとともに、授業力向上に係る校内研修の中心的役割を担っている。	
	今日的な教育課題への対応力	「主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業改善」への対応力	・「主体的・対話的で深い学び」が求められる背景や重要性について理解している。	・「主体的・対話的で深い学び」が求められる背景や重要性について理解し、授業改善に取り組んでいる。	・「主体的・対話的で深い学び」が求められる背景や重要性を踏まえ、授業改善に係る学校の課題を理解し、その解決に向けて、学校全体の授業改善に取り組んでいる。	・「主体的・対話的で深い学び」が求められる背景や重要性を踏まえ、授業改善に係る学校の課題を理解し、その解決に向けた学校全体の授業改善の中心的役割を担っている。
		「カリキュラム・マネジメント」への対応力	・「カリキュラム・マネジメント」が求められる背景や重要性について理解している。	・「カリキュラム・マネジメント」が求められる背景や重要性について理解し、教育活動の不断の検証・改善に生かしている。	・学校における「カリキュラム・マネジメント」推進上の課題を理解し、その解決に向けて教育活動の不断の検証・改善に取り組んでいる。	・学校における「カリキュラム・マネジメント」推進上の課題解決に向けて教育活動の不断の検証・改善に取り組むとともに、範を示したり、助言したりしている。
		「道徳教育の充実」への対応力	・「道徳教育の充実」が求められる背景や重要性について理解している。	・「道徳教育の充実」が求められる背景や重要性について理解し、学校教育活動全体を通じて、道徳教育を実践している。	・学校における道徳教育推進上の課題を理解し、その解決に向け、学校教育活動全体を通じて、道徳教育に取り組んでいる。	・学校における道徳教育推進上の課題解決に向け、学校教育活動全体を通じて、道徳教育に取り組むとともに、範を示したり、助言したりしている。
「外国語教育・国際理解教育の充実」への対応力	・「外国語教育・国際理解教育の充実」が求められる背景や重要性について理解している。	・「外国語教育・国際理解教育の充実」が求められる背景や重要性について理解し、実践に生かしている。	・学校における外国語教育・国際理解教育推進上の課題を理解し、その解決に向けて取り組んでいる。	・学校における外国語教育・国際理解教育推進上の課題解決に取り組むとともに、範を示したり、助言したりしている。		
子ども理解力	・子どもの心身の発達の過程や特徴、子ども理解の意義や重要性を理解し、子ども一人一人に積極的に関わろうとしている。	・子どもの心身の発達の過程や特徴、子ども一人一人のよさや可能性、成長の余地をはじめ、家庭環境などを理解して子どもと向き合っている。	・子どもの心身の発達の過程や特徴、子どもを取り巻く様々な環境や背景を含め、子ども一人一人を的確に理解している。	・子どもの心身の発達の過程や特徴、子ども一人一人を的確に理解するとともに、教職員相互に情報を共有できるような校内体制を整えている。		

	生徒指導・進路指導力	<ul style="list-style-type: none"> ・個や集団を指導する意義や重要性、手立てを理解している。 ・子どもの個性や能力の伸長と健全な心身の育成を通して、子どもの自己実現を図る指導の重要性を理解している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・子どもの発するサインを見逃すことなく予防的な対応を行い、個々の悩みや思いを共感的に受け止めるなど、学校生活への適応や人格の成長への援助を行っている。 ・子どもの個性や能力の伸長と健全な心身の育成を通して、子どもの自己実現を図る指導を行っている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・校内での情報共有に努めながら客観的な事実の把握を行い、個々の悩みや思いを共感的に受け止めるなど、学校生活への適応や人格の成長への援助を行っている。 ・子どもの個性や能力の伸長と健全な心身の育成を通して、子どもの自己実現を図る指導を行うとともに、自校の生徒指導・進路指導上の課題解決に向けて取り組んでいる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・学校の生徒指導・進路指導上の課題解決に向け、個々の悩みや思いを共感的に受け止め、学校生活への適応や人格の成長への援助を行うとともに、具体的な方策を提案している。 ・子どもの個性や能力の伸長と健全な心身の育成を通して、子どもの自己実現を図る指導を行うとともに、範を示したり、これまでの経験を踏まえた「心構え」や「コツ」を伝えたりしている。
	学級経営力	<ul style="list-style-type: none"> ・年間を見通した学級経営の重要性、学級担任の役割や職務内容を理解している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・子ども理解に基づきながら、子どもたちとの信頼関係を構築し、それぞれの可能性を引き出し、活躍の場をつくる学級経営を計画的に行い、よりよい学びの環境をつくっている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・子ども理解に基づきながら、子どもたちとの信頼関係を構築し、それぞれの可能性を引き出し、活躍の場をつくる学級経営を計画的に行い、望ましい集団をつくっている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・子ども理解に基づきながら、子どもたちとの信頼関係を構築し、それぞれの可能性を引き出し、活躍の場をつくる望ましい学級経営について範を示したり、これまでの経験を踏まえた「心構え」や「コツ」を伝えたりしている。
	特別な配慮や支援を必要とする子どもへの対応力	<ul style="list-style-type: none"> ・特別支援教育の動向や特別な配慮や支援を必要とする子どもの特性等について理解している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・特別支援教育の動向や特別な配慮や支援を必要とする子どもの特性等を理解し、教育的ニーズ等に対応している。 ・組織的な対応に必要な知識・具体的な支援内容・体制を理解し、学習上、生活上の支援を工夫している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・特別な配慮や支援を必要とする子どもの特性等を深く理解し、教育的ニーズ等に的確に対応している。 ・学校における特別支援教育推進上の課題を理解し、その解決に向けて組織的に学習上、生活上の支援を工夫している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・特別な配慮や支援を必要とする子どもの特性等を深く理解するとともに、全ての子どもを俯瞰（ふかん）し、教育的ニーズ等に的確に対応している。 ・学校における特別支援教育推進上の課題解決に向けた組織的な学習上、生活上の支援の工夫などについて、範を示したり、助言したりしている。
	ICTや情報・教育データを利活用する力	<ul style="list-style-type: none"> ・授業や校務等でICTを効果的に活用する目的と方法や重要性について理解している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・授業や校務等でICTを効果的に活用するとともに、子どもの学習の改善を図るため、教育データを適切に活用している。 ・子どもの情報活用能力（情報モラル・情報セキュリティを含む）を育成するための授業実践等を行っている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・学校における「ICTや情報・教育データの利活用」推進上の課題を理解し、その解決に向けて取り組んでいる。 ・授業や校務等でICTや教育データを効果的に活用するとともに、学校全体のICTの効果的な活用促進に向けて取り組んでいる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・学校における「ICTや情報・教育データの利活用」推進上の課題解決に中心となって取り組んでいる。 ・授業や校務等でICTや教育データを効果的に活用するとともに、範を示したり、助言したりしている。
学校づくりを担う一員として、地域等とも連携・協働しながら、課題解決に取り組む教員	学校づくりを担う一員としての自覚と協調性	<ul style="list-style-type: none"> ・教育公務員として、社会と協働して職務を円滑に遂行する上で必要となる職業観や人間関係のほか、公共心や社会通念などの重要性を理解している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・教育公務員として、社会と協働して職務を円滑に遂行する上で必要となる職業観や人間関係のほか、公共心や社会通念などの重要性を理解し、それに基づき行動している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・教育公務員として、社会と協働して職務を円滑に遂行する上で必要となる職業観や人間関係のほか、公共心や社会通念などの重要性を深く理解し、それに基づき行動するとともに、経験の浅い教職員に指導助言を行っている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・教育公務員として、社会と協働して職務を円滑に遂行する上で必要となる職業観や人間関係のほか、公共心や社会通念などの重要性を深く理解し、それに基づき職場で率先して行動するとともに、社会性を向上させる職場意識を高める校内体制を整えている。
	コミュニケーション能力（対人関係能力を含む）	<ul style="list-style-type: none"> ・自らの考えや意見などを相手に分かりやすく伝えるとともに、相手の考えの傾聴に努めるなど、互いを尊重して意思疎通を行い、良好な人間関係を構築している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・自らの考えや学校の方針等を子どもや保護者等に分かりやすく伝えるとともに、相手の意図を正確に理解し、円滑に意思疎通を行い、良好な人間関係を構築している。 ・自らの職務の充実に向け、上司や同僚などに相談や質問等を積極的に行っている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・自らの考えや学校の方針等を子どもや保護者、地域等に分かりやすく説明するとともに、相手が意図する背景を含めて正確に理解し、新たな方向性を見出すなど発展的な意思疎通を行い、良好な人間関係を構築している。 ・上司や同僚などと建設的な意見交換を行っている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・自らの考えや学校の方針等を子どもや保護者、地域等の立場にも配慮しながら分かりやすく説明するとともに、相手が意図する背景を含めて正確に理解し、課題解決に向けて共通認識に立ち実際の行動につながる意思疎通を行い、良好な人間関係を構築している。 ・上司や同僚などと建設的で未来志向的な意見交換を行っている。
	組織的・協働的な課題対応・解決能力	<ul style="list-style-type: none"> ・自らの学びと実践の省察や集団の中で協働的に行動することを通じて、課題対応・解決能力を身に付けていくことの重要性を理解している。 ・生命・心身を脅かす事故災害等、危機管理の知識や視点をもつことの重要性を理解している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・自らの学びと実践の省察をし、組織の一員としての自覚をもって、学校づくりに関わり、求められる役割を果たしている。 ・生命・心身を脅かす事故災害等、危機管理の知識や視点を備え、教育活動に生かしている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・自らの学びと実践の省察を通じて身に付けた課題対応・解決能力を生かし、組織の一員として積極的に学校づくりに関わり、互いのよさを認め合い、それぞれの課題対応・解決能力を生かして計画的に課題解決に当たっている。 ・生命・心身を脅かす事故災害等、危機管理の知識や視点を備え、安心安全な教育活動を推進している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・全校的な視野に立ち、他の教職員とも協働しながら、一人一人の役割と課題対応・解決能力を生かして、持続可能で計画的に課題解決に当たっている。 ・生命・心身を脅かす事故災害等、危機管理の知識や視点を備えるとともに、安心安全な学校運営のため、校内体制を整えている。
	地域等との連携・協働力	<ul style="list-style-type: none"> ・保護者や地域等との連携の重要性を理解している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・子どもの家庭及び地域社会の状況や自身や学校の強み・弱みの理解に基づき、保護者や地域等との連携の重要性を理解し、積極的に関わり、連携・協働して対応している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・子どもの家庭及び地域社会の状況や自身や学校の強み・弱みの深い理解に基づき、保護者・地域・関係機関等との関わりを深め、連携・協働して対応している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・子どもの家庭及び地域社会の状況や自身や学校の強み・弱みの深い理解に基づき、保護者・地域・関係機関等との連携・協働のネットワークを構築して学校の運営に当たっている。
	人材育成に貢献する力	<ul style="list-style-type: none"> ・他者の意見やアドバイスを耳を傾け、互いに高め合おうとしている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・他の教職員との関わりを大切にし、疑問点や悩みを相談したり、共有し合ったりしながら、互いに高め合おうとしている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・互いの課題や悩みに気付き、支え合える環境をつくるとともに、経験の浅い教職員に指導助言を行っている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・人材育成の重要性を踏まえ、支え合える環境をつくるとともに、経験の浅い教職員への指導助言やミドルリーダーの育成に取り組んでいる。

※小学校・中学校・義務教育学校教員育成指標については、中等教育学校（前期課程）においても活用することができます。

(3) 高等学校教員育成指標

※「養成段階」…「養成段階」には、新規に採用する教員に対して任命権者が求める資質能力を掲載

求める教員像	高等学校教員育成指標					
	キャリアステージ キーとなる資質能力	養成段階※	初任段階	中堅段階	ベテラン段階	
教育者として、強い使命感・倫理観と、子どもへの深い教育的愛情を、常に持ち続ける教員	教育的愛情	・生徒一人一人に愛情をもち、よさや可能性などに目を向けようとしている。	・生徒への愛情に基づき、一人一人の個性を尊重し、よさや可能性、成長の余地などに目を向け、伸ばしている。	・生徒への愛情に基づき、学校の教育活動を推進している。	・生徒への愛情に基づき、学校の教育活動を推進するため、職場全体の意識が高まるような働きかけを行っている。	
	使命感や責任感・倫理観	・生徒の育ちと学びに責任をもち、教育公務員として遵守すべき法令や職務、時代に応じた教育、学校の社会的役割・サービス等を理解している。	・生徒の育ちと学びに責任をもち、教育公務員に係る法令等を遵守するとともに、時代に応じた教育、学校の社会的役割・サービス等を理解し、職務上の義務を果たしている。	・生徒の育ちと学びに責任をもち、教育公務員に係る法令等を遵守するとともに、時代に応じた教育、学校の社会的役割・サービス等を深く理解し、職務上の義務を果たし、生徒や保護者等の期待に応える教育活動を行っている。	・生徒の育ちと学びに責任をもち、教育公務員に係る法令等を遵守するとともに、時代に応じた教育、学校の社会的役割・サービス等を深く理解し、職務上の義務を果たすことはもとより、職場全体の意識が高まるような働きかけを行っている。	
	総合的人間力	・社会体験等を通して、人間性、社会性、協調性を身に付けている。	・上司や同僚、保護者との関わりの中で、人間性、社会性、協調性を高めている。	・上司や同僚、保護者、地域との関わりの中で、人間性、社会性、協調性をバランスよく高めている。	・教職員相互に、人間性、社会性、協調性をバランスよく高め合える校内体制を整えている。	
	教職に対する強い情熱・人権意識	・人権意識に基づき、地域のボランティア活動や実習先の学校の教育活動において、全ての生徒を尊重しようとしている。	・人権意識に基づき、地域の行事や社会教育活動、学校の教育活動において、全ての生徒を尊重するとともに、教職への誇りを有している。	・人権意識に基づき、全ての生徒を尊重するとともに、教職への誇りを有している。	・人権意識に基づき、全ての生徒を尊重するとともに、教職への誇りを有し、職場全体の意識が高まるような働きかけを行っている。	
	主体的に学び続ける姿勢	・研修の法的な位置付けや、情報の収集・選択・活用の重要性を理解している。	・初任段階教員研修等や情報の収集・選択・活用を通して、実践的指導力など、初任段階に求められる資質能力を身に付けるため、学び続けようとしている。	・学校の課題を理解し、解決するための校内外の研修に積極的に参加するとともに、適切な情報の活用・再構成などを通して、高度な指導力など、中堅段階に求められる資質能力を高めるため、学び続けようとしている。	・組織的・協働的な体制づくりの重要性を理解し、組織マネジメント等の研修に積極的に参加するとともに、適切な情報の活用・再構成などを通して、人材育成や地域との連携・協働など、ベテラン段階に求められる資質能力を高めるため、学び続けようとしている。	
教育の専門家として、実践的指導力や専門性の向上に、主体的に取り組む教員	教科等や教職に関する専門的な知識・技能	・教職の意義や教員の役割、職務内容等に関する基礎的な知識・技能を身に付けている。 ・教科等の内容に関する専門的な知識・技能を身に付けている。 ・自律的に研修を進めるための基礎的な知識・技能を身に付けている。	・教職の意義や教員の役割、職務内容等に関する知識・技能を身に付け、職務に生かしている。 ・教科等の内容に関する専門的な知識・技能を身に付け、授業に生かしている。 ・自らの課題解決に向け、自律的に研修を進めている。	・教職の意義や教員の役割、職務内容等に関する深い知識・技能を身に付け、職務に生かしている。 ・教科等の内容に関する専門的な知識・技能を身に付け、授業に生かすとともに、初任段階の教員に指導助言している。 ・学校の課題の解決に向け、自律的に研修を進めている。	・教職の意義や教員の役割、職務内容等に関する深い知識・技能を身に付け、職務や職場の意識向上に生かしている。 ・教科等の内容に関する専門的な知識・技能を校内研修など職場全体に生かしている。 ・学校の課題の解決に向け、自律的に研修を進める校内体制を整えている。	
	授業力	・学習者中心の授業の創造に向け、ねらいを明確にした指導計画を作成し、意図的な授業を展開することの重要性を理解している。	・学習者中心の授業の創造に向け、深い学びにつながる教材研究や学習過程の検討を同僚と協働して行い、ねらいを明確にした指導計画を作成し、生徒の学習状況を捉えて意図的・計画的に授業を展開している。	・学習者中心の授業の創造に向け、各教科等の専門性を生かして、ねらいを達成できる指導計画を作成し、生徒の学習状況を捉えて意図的・計画的に授業を展開するとともに、他の教員の授業力向上にも取り組んでいる。	・学習者中心の授業の創造に向け、各教科等の専門性を生かして、ねらいを達成できる指導計画を作成し、生徒の学習状況を捉えて意図的・計画的に授業を展開するとともに、授業力向上に係る校内研修の中心的役割を担っている。	
	今日的な教育課題への対応力	「主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業改善」への対応力	・「主体的・対話的で深い学び」が求められる背景や重要性について理解している。	・「主体的・対話的で深い学び」が求められる背景や重要性について理解し、授業改善に取り組んでいる。	・「主体的・対話的で深い学び」が求められる背景や重要性を踏まえ、授業改善に係る学校の課題を理解し、その解決に向けて、学校全体の授業改善に取り組んでいる。	・「主体的・対話的で深い学び」が求められる背景や重要性を踏まえ、授業改善に係る学校の課題を理解し、その解決に向けた学校全体の授業改善の中心的役割を担っている。
		「カリキュラム・マネジメント」への対応力	・「カリキュラム・マネジメント」が求められる背景や重要性について理解している。	・「カリキュラム・マネジメント」が求められる背景や重要性について理解し、教育活動の不断の検証・改善に生かしている。	・学校における「カリキュラム・マネジメント」推進上の課題を理解し、その解決に向けて教育活動の不断の検証・改善に取り組んでいる。	・学校における「カリキュラム・マネジメント」推進上の課題解決に向けて教育活動の不断の検証・改善に取り組むとともに、範を示したり、助言したりしている。
		「道徳教育の充実」への対応力	・「道徳教育の充実」が求められる背景や重要性について理解している。	・「道徳教育の充実」が求められる背景や重要性について理解し、学校教育活動全体を通じて、道徳教育を実践している。	・学校における道徳教育推進上の課題を理解し、その解決に向けて、学校教育活動全体を通じて、道徳教育に取り組んでいる。	・学校における道徳教育推進上の課題解決に向け、学校教育活動全体を通じて、道徳教育に取り組むとともに、範を示したり、助言したりしている。
	「外国語教育・国際理解教育の充実」への対応力	・「外国語教育・国際理解教育の充実」が求められる背景や重要性について理解している。	・「外国語教育・国際理解教育の充実」が求められる背景や重要性について理解し、実践に生かしている。	・学校における外国語教育・国際理解教育推進上の課題を理解し、その解決に向けて取り組んでいる。	・学校における外国語教育・国際理解教育推進上の課題解決に取り組むとともに、範を示したり、助言したりしている。	
生徒理解力	・生徒の心身の発達の過程や特徴、生徒理解の意義や重要性を理解し、生徒一人一人に積極的に関わろうとしている。	・生徒の心身の発達の過程や特徴、生徒一人一人のよさや可能性、成長の余地をはじめ、家庭環境などを理解して生徒と向き合っている。	・生徒の心身の発達の過程や特徴、生徒を取り巻く様々な環境や背景を含め、生徒一人一人を的確に理解している。	・生徒の心身の発達の過程や特徴、生徒一人一人を的確に理解するとともに、教職員相互に情報を共有できる校内体制を整えている。		

	生徒指導・進路指導力	<ul style="list-style-type: none"> ・個や集団を指導する意義や重要性、手立てを理解している。 ・生徒の個性や能力の伸長と健全な心身の育成を通して、生徒の自己実現を図る指導の重要性を理解している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・生徒の発するサインを見逃すことなく予防的な対応を行い、個々の悩みや思いを共感的に受け止めるなど、学校生活への適応や人格の成長への援助を行っている。 ・生徒の個性や能力の伸長と健全な心身の育成を通して、生徒の自己実現を図る指導を行っている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・校内での情報共有に努めながら客観的な事実の把握を行い、個々の悩みや思いを共感的に受け止めるなど、学校生活への適応や人格の成長への援助を行っている。 ・生徒の個性や能力の伸長と健全な心身の育成を通して、生徒の自己実現を図る指導を行うとともに、自校の生徒指導・進路指導上の課題解決に向けて取り組んでいる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・学校の生徒指導・進路指導上の課題解決に向け、個々の悩みや思いを共感的に受け止め、学校生活への適応や人格の成長への援助を行うとともに、具体的な方策を提案している。 ・生徒の個性や能力の伸長と健全な心身の育成を通して、生徒の自己実現を図る指導を行うとともに、範を示したり、これまでの経験を踏まえた「心構え」や「コツ」を伝えたりしている。
	ホームルーム経営力	<ul style="list-style-type: none"> ・年間を見通した学級経営の重要性、ホームルーム担任の役割や職務内容を理解している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・生徒理解に基づきながら、生徒たちとの信頼関係を構築し、それぞれの可能性を引き出し、活躍の場をつくるホームルーム経営を計画的に行い、よりよい学びの環境をつくっている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・生徒理解に基づきながら、生徒たちとの信頼関係を構築し、それぞれの可能性を引き出し、活躍の場をつくるホームルーム経営を計画的に行い、望ましい集団をつくっている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・生徒理解に基づきながら、生徒たちとの信頼関係を構築し、それぞれの可能性を引き出し、活躍の場をつくる望ましいホームルーム経営について範を示したり、これまでの経験を踏まえた「心構え」や「コツ」を伝えたりしている。
	特別な配慮や支援を必要とする生徒への対応力	<ul style="list-style-type: none"> ・特別支援教育の動向や特別な配慮や支援を必要とする生徒の特性等について理解している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・特別支援教育の動向や特別な配慮や支援を必要とする生徒の特性等を理解し、教育的ニーズ等に対応している。 ・組織的な対応に必要な知識・具体的な支援内容・体制を理解し、学習上、生活上の支援を工夫している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・特別な配慮や支援を必要とする生徒の特性等を深く理解し、教育的ニーズ等に的確に対応している。 ・学校における特別支援教育推進上の課題を理解し、その解決に向けて組織的に学習上、生活上の支援を工夫している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・特別な配慮や支援を必要とする生徒の特性等を深く理解するとともに、全ての生徒を俯瞰（ふかん）し、教育的ニーズ等に的確に対応している。 ・学校における特別支援教育推進上の課題解決に向けた組織的な学習上、生活上の支援の工夫などについて、範を示したり、助言したりしている。
	ICTや情報・教育データを利活用する力	<ul style="list-style-type: none"> ・授業や校務等でICTを効果的に活用する目的と方法や重要性について理解している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・授業や校務等でICTを効果的に活用するとともに、生徒の学習の改善を図るため、教育データを適切に活用している。 ・生徒の情報活用能力（情報モラル・情報セキュリティを含む）を育成するための授業実践等を行っている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・学校における「ICTや情報・教育データの利活用」推進上の課題を理解し、その解決に向けて取り組んでいる。 ・授業や校務等でICTや教育データを効果的に活用するとともに、学校全体のICTの効果的な活用促進に向けて取り組んでいる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・学校における「ICTや情報・教育データの利活用」推進上の課題解決に中心となって取り組んでいる。 ・授業や校務等でICTや教育データを効果的に活用するとともに、範を示したり、助言したりしている。
学校づくりを担う一員として、地域等とも連携・協働しながら、課題解決に取り組む教員	学校づくりを担う一員としての自覚と協調性	<ul style="list-style-type: none"> ・教育公務員として、社会と協働して職務を円滑に遂行する上で必要となる職業観や人間関係のほか、公共心や社会通念などの重要性を理解している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・教育公務員として、社会と協働して職務を円滑に遂行する上で必要となる職業観や人間関係のほか、公共心や社会通念などの重要性を理解し、それに基づき行動している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・教育公務員として、社会と協働して職務を円滑に遂行する上で必要となる職業観や人間関係のほか、公共心や社会通念などの重要性を深く理解し、それに基づき行動するとともに、経験の浅い教職員に指導助言を行っている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・教育公務員として、社会と協働して職務を円滑に遂行する上で必要となる職業観や人間関係のほか、公共心や社会通念などの重要性を深く理解し、それに基づき働き場率先して行動するとともに、社会性を向上させる職場意識を高める校内体制を整えている。
	コミュニケーション能力（対人関係能力を含む）	<ul style="list-style-type: none"> ・自らの考えや意見などを相手に分かりやすく伝えるとともに、相手の考えの傾聴に努めるなど、互いを尊重して意思疎通を行い、良好な人間関係を構築している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・自らの考えや学校の方針等を生徒や保護者等に分かりやすく伝えるとともに、相手の意図を正確に理解し、円滑に意思疎通を行い、良好な人間関係を構築している。 ・自らの職務の充実に向け、上司や同僚などに相談や質問等を積極的に行っている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・自らの考えや学校の方針等を生徒や保護者、地域等に分かりやすく説明するとともに、相手が意図する背景を含めて正確に理解し、新たな方向性を見出すなど発展的な意思疎通を行い、良好な人間関係を構築している。 ・上司や同僚などと建設的な意見交換を行っている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・自らの考えや学校の方針等を生徒や保護者、地域等の立場にも配慮しながら分かりやすく説明するとともに、相手が意図する背景を含めて正確に理解し、課題解決に向けて共通認識に立ち実際の行動につながる意思疎通を行い、良好な人間関係を構築している。 ・上司や同僚などと建設的で未来志向的な意見交換を行っている。
	組織的・協働的な課題対応・解決能力	<ul style="list-style-type: none"> ・自らの学びと実践の省察や集団の中で協働的に行動することを通じて、課題対応・解決能力を身に付けていくことの重要性を理解している。 ・生命・心身を脅かす事故災害等、危機管理の知識や視点をもつことの重要性を理解している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・自らの学びと実践の省察をし、組織の一員としての自覚をもって、学校づくりに関わり、求められる役割を果たしている。 ・生命・心身を脅かす事故災害等、危機管理の知識や視点を備え、教育活動に生かしている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・自らの学びと実践の省察を通じて身に付けた課題対応・解決能力を生かし、組織の一員として積極的に学校づくりに関わり、互いのよさを認め合い、それぞれの課題対応・解決能力を生かして計画的に課題解決に当たっている。 ・生命・心身を脅かす事故災害等、危機管理の知識や視点を備え、安心安全な教育活動を推進している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・全校的な視野に立ち、他の教職員とも協働しながら、一人一人の役割と課題対応・解決能力を生かして、持続可能で計画的に課題解決に当たっている。 ・生命・心身を脅かす事故災害等、危機管理の知識や視点を備え、安心安全な学校運営のため、校内体制を整えている。
	地域等との連携・協働力	<ul style="list-style-type: none"> ・保護者や地域等との連携の重要性を理解している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・生徒の家庭及び地域社会の状況や自身や学校の強み・弱みの理解に基づき、保護者や地域等との連携の重要性を理解し、積極的に関わり、連携・協働して対応している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・生徒の家庭及び地域社会の状況や自身や学校の強み・弱みの深い理解に基づき、保護者・地域・関係機関等との関わりを深め、連携・協働して対応している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・生徒の家庭及び地域社会の状況や自身や学校の強み・弱みの深い理解に基づき、保護者・地域・関係機関等との連携・協働のネットワークを構築して学校の運営に当たっている。
	人材育成に貢献する力	<ul style="list-style-type: none"> ・他者の意見やアドバイスを耳を傾け、互いに高め合おうとしている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・他の教職員との関わりを大切にし、疑問点や悩みを相談したり、共有し合ったりしながら、互いに高め合おうとしている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・互いの課題や悩みに気づき、支え合える環境をつくるとともに、経験の浅い教職員に指導助言を行っている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・人材育成の重要性を踏まえ、支え合える環境をつくるとともに、経験の浅い教職員への指導助言やミドルリーダーの育成に取り組んでいる。

※高等学校教員育成指標については、中等教育学校（後期課程）においても活用することができます。

(4) 特別支援学校教員育成指標

※「養成段階」…「養成段階」には、新規に採用する教員に対して任命権者が求める資質能力を掲載

求める教員像	特別支援学校教員育成指標				
	キャリアステージ キーとなる資質能力	養成段階※	初任段階	中堅段階	ベテラン段階
教育者として、強い使命感・倫理観と、子どもへの深い教育的愛情を、常に持ち続ける教員	教育的愛情	・子ども一人一人に愛情をもち、よさや可能性などに目を向けようとしている。	・子どもへの愛情に基づき、一人一人の個性を尊重し、よさや可能性、成長の余地などに目を向け、伸ばしている。	・子どもへの愛情に基づき、学校の教育活動を推進している。	・子どもへの愛情に基づき、学校の教育活動を推進するため、職場全体の意識が高まるような働きかけを行っている。
	使命感や責任感・倫理観	・子どもの育ちと学びに責任をもち、教育公務員として遵守すべき法令や職務、時代に応じた教育、学校の社会的役割・服務等を理解している。	・子どもの育ちと学びに責任をもち、教育公務員に係る法令等を遵守するとともに、時代に応じた教育、学校の社会的役割・服務等を理解し、職務上の義務を果たしている。	・子どもの育ちと学びに責任をもち、教育公務員に係る法令等を遵守するとともに、時代に応じた教育、学校の社会的役割・服務等を深く理解し、職務上の義務を果たし、子どもや保護者等の期待に応える教育活動を行っている。	・子どもの育ちと学びに責任をもち、教育公務員に係る法令等を遵守するとともに、時代に応じた教育、学校の社会的役割・服務等を深く理解し、職務上の義務を果たすことはもとより、職場全体の意識が高まるような働きかけを行っている。
	総合的人間力	・社会体験等を通して、人間性、社会性、協調性を身に付けている。	・上司や同僚、保護者との関わりの中で、人間性、社会性、協調性を高めている。	・上司や同僚、保護者、地域との関わりの中で、人間性、社会性、協調性をバランスよく高めている。	・教職員相互に、人間性、社会性、協調性をバランスよく高め合える校内体制を整えている。
	教職に対する強い情熱・人権意識	・人権意識に基づき、地域のボランティア活動や実習先の学校の教育活動において、全ての子どもを尊重しようとしている。	・人権意識に基づき、地域の行事や社会教育活動、学校の教育活動において、全ての子どもを尊重するとともに、教職への誇りを有している。	・人権意識に基づき、全ての子どもを尊重するとともに、教職への誇りを有している。	・人権意識に基づき、全ての子どもを尊重するとともに、教職への誇りを有し、職場全体の意識が高まるような働きかけを行っている。
	主体的に学び続ける姿勢	・研修の法的な位置付けや、情報の収集・選択・活用の重要性を理解している。	・初任段階教員研修等や情報の収集・選択・活用を通して、実践的指導力など、初任段階に求められる資質能力を身に付けるため、学び続けようとしている。	・学校の課題を理解し、解決するための校内外の研修に積極的に参加するとともに、適切な情報の活用・再構成などを通して、高度な指導力など、中堅段階に求められる資質能力を高めるため、学び続けようとしている。	・組織的・協働的な体制づくりの重要性を理解し、組織マネジメント等の研修に積極的に参加するとともに、適切な情報の活用・再構成などを通して、人材育成や地域との連携・協働など、ベテラン段階に求められる資質能力を高めるため、学び続けようとしている。
教育の専門家として、実践的指導力や専門性の向上に、主体的に取り組む教員	教科等や教職に関する専門的な知識・技能	・教職の意義や教員の役割、職務内容等に関する基礎的な知識・技能を身に付けている。 ・障がいの状態や特性及び発達の段階等について概ね理解している。 ・教科等の内容に関する専門的な知識・技能を身に付けている。 ・自律的に研修を進めるための基礎的な知識・技能を身に付けている。 ・特別支援学校や特別支援学級の教育活動について概ね理解している。	・教職の意義や教員の役割、職務内容等に関する知識・技能を身に付け、職務に生かしている。 ・障がいの状態や特性及び発達の段階等について理解し、授業に生かしている。 ・教科等の内容に関する専門的な知識・技能を身に付け、授業に生かしている。 ・自立活動の目標、内容について理解している。 ・自らの課題解決に向け、自律的に研修を進めている。	・教職の意義や教員の役割、職務内容等に関する深い知識・技能を身に付け、職務に生かしている。 ・障がいの状態や特性及び発達の段階等に応じた指導の知識・技術等を効果的に関連付けて授業に生かしている。 ・教科等の内容に関する専門的な知識・技能を身に付け、授業に生かすとともに、初任段階の教員に指導助言している。 ・自立活動の目標や内容について理解し、初任段階教員に助言している。 ・学校の課題の解決に向け、自律的に研修を進めている。	・教職の意義や教員の役割、職務内容等に関する深い知識・技能を身に付け、職務や職場の意識向上に生かしている。 ・障がいの状態や特性及び発達の段階等に応じた指導の知識・技術等について校内研修など職場全体に啓発している。 ・教科等の内容に関する専門的な知識・技能を校内研修など職場全体に生かしている。 ・自立活動の目標や内容について理解し、校内研修など職場全体に啓発している。 ・学校の課題の解決に向け、自律的に研修を進める校内体制を整えている。
	授業力	・学習者中心の授業の創造に向け、ねらいを明確にした指導計画を作成し、意図的な授業を展開することの重要性を理解している。 ・個別の指導計画の意義を理解している。	・学習者中心の授業の創造に向け、深い学びにつながる教材研究や学習過程の検討を同僚と協働して行い、ねらいを明確にした指導計画を作成し、子どもの学習状況を捉えて意図的・計画的に授業を展開している。 ・個別の指導計画の意義を理解し、作成している。	・学習者中心の授業の創造に向け、各教科等の専門性を生かして、ねらいを達成できる指導計画を作成し、子どもの学習状況を捉えて意図的・計画的に授業を展開するとともに、他の教員の授業力向上にも取り組んでいる。 ・個別の指導計画を作成し、効果的な授業を行っている。	・学習者中心の授業の創造に向け、各教科等の専門性を生かして、ねらいを達成できる指導計画を作成し、子どもの学習状況を捉えて意図的・計画的に授業を展開するとともに、授業力向上に係る校内研修の中心的役割を担っている。 ・個別の指導計画の効果的な活用について、職場全体の意識が高まるよう働きかけを行っている。
	今日的な教育課題への対応力	・「主体的・対話的で深い学び」が求められる背景や重要性について理解している。	・「主体的・対話的で深い学び」が求められる背景や重要性について理解し、授業改善に取り組んでいる。 ・障がいのある子ども一人一人の実態を踏まえた配慮を行っている。	・「主体的・対話的で深い学び」が求められる背景や重要性を踏まえ、授業改善に係る学校の課題を理解し、その解決に向けて、学校全体の授業改善に取り組んでいる。 ・障がいのある子ども一人一人の実態を踏まえた配慮を行い、授業改善を行っている。	・「主体的・対話的で深い学び」が求められる背景や重要性を踏まえ、授業改善に係る学校の課題を理解し、その解決に向けて、学校全体の授業改善の中心的役割を担っている。 ・障がいのある子ども一人一人の実態を踏まえた配慮を行い、授業改善を行うとともに、範を示したり、助言したりしている。
	「カリキュラム・マネジメント」への対応力	・「カリキュラム・マネジメント」が求められる背景や重要性について理解している。	・「カリキュラム・マネジメント」が求められる背景や重要性について理解し、教育活動の不断の検証・改善に生かしている。 ・通常の学級、通級による指導、特別支援学級、特別支援学校といった連続性のある多様な学びの重要性について理解している。	・学校における「カリキュラム・マネジメント」推進上の課題を理解し、その解決に向けて教育活動の不断の検証・改善に取り組んでいる。 ・通常の学級、通級による指導、特別支援学級、特別支援学校といった連続性のある多様な学びの重要性を意識して教育活動に生かしている。	・学校における「カリキュラム・マネジメント」推進上の課題解決に向けて教育活動の不断の検証・改善に取り組むとともに、範を示したり、助言したりしている。 ・通常の学級、通級による指導、特別支援学級、特別支援学校といった連続性のある多様な学びの重要性について、校内研修などで職場全体に啓発している。
	「道徳教育の充実」への対応力	・「道徳教育の充実」が求められる背景や重要性について理解している。	・「道徳教育の充実」が求められる背景や重要性について理解し、学校教育活動全体を通じて、道徳教育を実践している。	・学校における道徳教育推進上の課題を理解し、その解決に向け、学校教育活動全体を通じて、道徳教育に取り組むとともに、範を示したり、助言したりしている。	

	「外国語教育・国際理解教育の充実」への対応力	・「外国語教育・国際理解教育の充実」が求められる背景や重要性について理解している。	・「外国語教育・国際理解教育の充実」が求められる背景や重要性について理解し、実践に生かしている。	・学校における外国語教育・国際理解教育推進上の課題を理解し、その解決に向けて取り組んでいる。	・学校における外国語教育・国際理解教育推進上の課題解決に取り組むとともに、範を示したり、助言したりしている。
	子ども理解力	・子どもの心身の発達の過程や特徴、子ども理解の意義や重要性を理解し、子ども一人一人に積極的に関わろうとしている。	・子どもの心身の発達の過程や特徴、子ども一人一人のよさや可能性、成長の余地をはじめ、家庭環境などを理解して子どもと向き合っている。	・子どもの心身の発達の過程や特徴、子どもを取り巻く様々な環境や背景を含め、子ども一人一人を的確に理解している。	・子どもの心身の発達の過程や特徴、子ども一人一人を的確に理解するとともに、教職員相互に情報を共有できるように校内体制を整えている。
	生徒指導・進路指導力	・個や集団を指導する意義や重要性、手立てを理解している。 ・子どもの個性や能力の伸長と健全な心身の育成を通して、子どもの自己実現を図る指導の重要性を理解している。 ・個別の教育支援計画の意義について理解している。	・子どもの発するサインを見逃すことなく予防的な対応を行い、個々の悩みや思いを共感的に受け止めるなど、学校生活への適応や人格の成長への援助を行っている。 ・子どもの個性や能力の伸長と健全な心身の育成を通して、子どもの自己実現を図る指導を行っている。 ・保護者とともに、個別の教育支援計画を作成している。	・校内での情報共有に努めながら客観的な事実の把握を行い、個々の悩みや思いを共感的に受け止めるなど、学校生活への適応や人格の成長への援助を行っている。 ・子どもの個性や能力の伸長と健全な心身の育成を通して、子どもの自己実現を図る指導を行うとともに、自校の生徒指導・進路指導上の課題解決に向けて取り組んでいる。 ・個別の教育支援計画を活用して効果的な引継ぎをしている。	・学校の生徒指導・進路指導上の課題解決に向け、個々の悩みや思いを共感的に受け止め、学校生活への適応や人格の成長への援助を行うとともに、具体的な方策を提案している。 ・子どもの個性や能力の伸長と健全な心身の育成を通して、子どもの自己実現を図る指導を行うとともに、範を示したり、これまでの経験を踏まえた「心構え」や「コツ」を伝えたりしている。 ・個別の教育支援計画を活用した効果的な引継ぎについて助言している。
	学級経営力	・年間を見通した学級経営の重要性、学級担任の役割や職務内容を理解している。	・子ども理解に基づきながら、子どもたちとの信頼関係を構築し、それぞれの可能性を引き出し、活躍の場をつくる学級経営を計画的に行い、よりよい学びの環境をつくっている。	・子ども理解に基づきながら、子どもたちとの信頼関係を構築し、それぞれの可能性を引き出し、活躍の場をつくる学級経営を計画的に行い、望ましい集団をつくっている。	・子ども理解に基づきながら、子どもたちとの信頼関係を構築し、それぞれの可能性を引き出し、活躍の場をつくる望ましい学級経営について範を示したり、これまでの経験を踏まえた「心構え」や「コツ」を伝えたりしている。
	特別な配慮や支援を必要とする子どもへの対応力	・特別支援教育の動向や特別な配慮や支援を必要とする子どもの特性等について理解している。	・特別支援教育の動向や特別な配慮や支援を必要とする子どもの特性等を理解し、教育的ニーズ等に対応している。 ・組織的な対応に必要な知識・具体的な支援内容・体制を理解し、子どもの学習上、生活上の困難さに応じた指導を行っている。	・特別な配慮や支援を必要とする子どもの特性等を深く理解するとともに、全ての子どもを俯瞰（ふかん）し、教育的ニーズ等に的確に対応している。 ・学校における特別支援教育推進上の課題を理解し、その解決に向けて組織的に子どもの学習上、生活上の困難さに応じた指導を行っている。	・特別な配慮や支援を必要とする子どもの特性等を深く理解し、全ての子どもを俯瞰（ふかん）するとともに、教育的ニーズ等に的確に対応し、校内体制を整えている。 ・学校における特別支援教育推進上の課題解決に向けて組織的に子どもの学習上、生活上の困難さに応じた指導などについて、範を示したり、助言したりしている。
	ICTや情報・教育データを利活用する力	・授業や校務等でICTを効果的に活用する目的と方法や重要性について理解している。 ・ICTが、障がいによる学習上又は生活上の困難を改善・克服するために有効であることを理解している。	・授業や校務等でICTを効果的に活用するとともに、子どもの学習の改善を図るため、教育データを適切に活用している。 ・ICTが、障がいによる学習上又は生活上の困難を改善・克服するために有効であることを理解し、子どもの情報活用能力を育成するための授業実践等を行っている。	・学校における「ICTや情報・教育データの利活用」推進上の課題を理解し、その解決に向けて取り組んでいる。 ・ICTが、障がいによる学習上又は生活上の困難を改善・克服するために有効であることを理解し、授業や校務等でICTや教育データを効果的に活用するとともに、学校全体のICTの効果的な活用促進に向けて取り組んでいる。	・学校における「ICTや情報・教育データの利活用」推進上の課題解決に中心となって取り組んでいる。 ・ICTが、障がいによる学習上又は生活上の困難を改善・克服するために有効であることを理解し、授業や校務等でICTや教育データを効果的に活用するとともに、範を示したり、助言したりしている。
学校づくりを担う一員として、地域等とも連携・協働しながら、課題解決に取り組む教員	学校づくりを担う一員としての自覚と協調性	・教育公務員として、社会と協働して職務を円滑に遂行する上で必要となる職業観や人間関係のほか、公共心や社会通念などの重要性を理解している。	・教育公務員として、社会と協働して職務を円滑に遂行する上で必要となる職業観や人間関係のほか、公共心や社会通念などの重要性を理解し、それに基づき行動している。	・教育公務員として、社会と協働して職務を円滑に遂行する上で必要となる職業観や人間関係のほか、公共心や社会通念などの重要性を深く理解し、それに基づき行動するとともに、経験の浅い教職員に指導助言を行っている。	・教育公務員として、社会と協働して職務を円滑に遂行する上で必要となる職業観や人間関係のほか、公共心や社会通念などの重要性を深く理解し、それに基づき職場で率先して行動するとともに、社会性を向上させる職場意識を高める校内体制を整えている。
	コミュニケーション能力（対人関係能力を含む）	・自らの考えや意見などを相手に分かりやすく伝えるとともに、相手の考えの傾聴に努めるなど、互いを尊重して意思疎通を行い、良好な人間関係を構築している。	・自らの考えや学校の方針等を子どもや保護者等に分かりやすく伝えるとともに、相手の意図を正確に理解し、円滑に意思疎通を行い、良好な人間関係を構築している。 ・自らの職務の充実に向け、上司や同僚などに相談や質問等を積極的に行っている。	・自らの考えや学校の方針等を子どもや保護者、地域等に分かりやすく説明するとともに、相手や意図する背景を含めて正確に理解し、新たな方向性を見出すなど発展的な意思疎通を行い、良好な人間関係を構築している。 ・上司や同僚などと建設的な意見交換を行っている。	・自らの考えや学校の方針等を子どもや保護者、地域等の立場にも配慮しながら分かりやすく説明するとともに、相手や意図する背景を含めて正確に理解し、課題解決に向けて共通認識に立ち実際の行動につながる意思疎通を行い、良好な人間関係を構築している。 ・上司や同僚などと建設的で未来志向的な意見交換を行っている。
	組織的・協働的な課題対応・解決能力	・自らの学びと実践の省察や集団の中で協働的に行動することを通じて、課題対応・解決能力を身に付けていくことの重要性を理解している。 ・生命・心身を脅かす事故災害等、危機管理の知識や視点をもつことの重要性を理解している。	・自らの学びと実践の省察をし、組織の一員としての自覚をもって、学校づくりに関わり、求められる役割を果たしている。 ・生命・心身を脅かす事故災害等、危機管理の知識や視点を備え、教育活動に生かしている。	・自らの学びと実践の省察を通じて身に付けた課題対応・解決能力を生かし、組織の一員として積極的に学校づくりに関わり、互いのよさを認め合い、それぞれの課題対応・解決能力を生かして計画的に課題解決に当たっている。 ・生命・心身を脅かす事故災害等、危機管理の知識や視点を備え、安心安全な教育活動を推進している。	・全校的な視野に立ち、他の教職員とも協働しながら、一人一人の役割と課題対応・解決能力を生かして、持続可能な計画的に課題解決に当たっている。 ・生命・心身を脅かす事故災害等、危機管理の知識や視点を備えるとともに、安心安全な学校運営のため、校内体制を整えている。
	地域等との連携・協働力	・保護者や地域等との連携の重要性を理解している。	・子どもの家庭及び地域社会の状況や自身や学校の強み・弱みの理解に基づき、保護者や地域等との連携の重要性を理解し、積極的に関わり、連携・協働して対応している。	・子どもの家庭及び地域社会の状況や自身や学校の強み・弱みの深い理解に基づき、保護者・地域・関係機関等との関わりを深め、連携・協働して対応している。	・子どもの家庭及び地域社会の状況や自身や学校の強み・弱みの深い理解に基づき、保護者・地域・関係機関等との連携・協働のネットワークを構築して学校の運営に当たっている。
	人材育成に貢献する力	・他者の意見やアドバイスを耳を傾け、互いに高め合おうとしている。	・他の教職員との関わりを大切に、疑問点や悩みを相談したり、共有し合ったりしながら、互いに高め合おうとしている。	・互いの課題や悩みに気付き、支え合える環境をつくるとともに、経験の浅い教職員に指導助言を行っている。	・人材育成の重要性を踏まえ、支え合える環境をつくるとともに、経験の浅い教職員への指導助言やミドルリーダーの育成に取り組んでいる。

※「特別な配慮や支援を必要とする子どもへの対応力」については、特別支援学校においては、「教科等や教職に関する専門的な知識・技能」等に含まれますが、教員育成指標スタンダードとの関連が分かるよう、そのまま記載しています。

※幼稚園、小・中・高学年部、高等部に応じて、他校種の教員育成指標を参考にすることもできます。

※特別支援学校教員育成指標については、小学校・中学校・義務教育学校における特別支援学級担当教諭の指標としても活用することができます。

6 職種別教員育成指標

(1) 養護教諭教員育成指標

※「養成段階」…「養成段階」には、新規に採用する教員に対して任命権者が求める資質能力を掲載

求める教員像	養護教諭教員育成指標				
	キャリアステージ キーとなる資質能力	養成段階※	初任段階	中堅段階	ベテラン段階
教育者として、強い使命感・倫理観と、子どもへの深い教育的愛情を、常に持ち続ける教員	教育的愛情	・子ども一人一人に愛情をもち、よさや可能性などに目を向けようとしている。	・子どもへの愛情に基づき、一人一人の個性を尊重し、よさや可能性、成長の余地などに目を向け、伸ばしている。	・子どもへの愛情に基づき、学校の教育活動を推進している。	・子どもへの愛情に基づき、学校の教育活動を推進するため、職場全体の意識が高まるような働きかけを行っている。
	使命感や責任感・倫理観	・子どもの育ちと学びに責任をもち、教育公務員として遵守すべき法令や職務、時代に応じた教育、学校の社会的役割・服務等を理解している。	・子どもの育ちと学びに責任をもち、教育公務員に係る法令等を遵守するとともに、時代に応じた教育、学校の社会的役割・服務等を理解し、職務上の義務を果たしている。	・子どもの育ちと学びに責任をもち、教育公務員に係る法令等を遵守するとともに、時代に応じた教育、学校の社会的役割・服務等を深く理解し、職務上の義務を果たし、子どもや保護者等の期待に応える教育活動を行っている。	・子どもの育ちと学びに責任をもち、教育公務員に係る法令等を遵守するとともに、時代に応じた教育、学校の社会的役割・服務等を深く理解し、職務上の義務を果たすことはもとより、職場全体の意識が高まるような働きかけを行っている。
	総合的人間力	・社会体験等を通して、人間性、社会性、協調性を身に付けている。	・上司や同僚、保護者との関わりの中で、人間性、社会性、協調性を高めている。	・上司や同僚、保護者、地域との関わりの中で、人間性、社会性、協調性をバランスよく高めている。	・教職員相互に、人間性、社会性、協調性をバランスよく高め合える校内体制を整えている。
	教職に対する強い情熱・人権意識	・人権意識に基づき、地域のボランティア活動や実習先の学校の教育活動において、全ての子どもを尊重しようとしている。	・人権意識に基づき、地域の行事や社会教育活動、学校の教育活動において、全ての子どもを尊重するとともに、教職への誇りを有している。	・人権意識に基づき、全ての子どもを尊重するとともに、教職への誇りを有している。	・人権意識に基づき、全ての子どもを尊重するとともに、教職への誇りを有し、職場全体の意識が高まるような働きかけを行っている。
	主体的に学び続ける姿勢	・研修の法的な位置付けや、情報の収集・選択・活用の重要性を理解している。	・初任段階養護教諭等研修や情報の収集・選択・活用を通して、実践的指導力など、初任段階に求められる資質能力を身に付けるため、学び続けようとしている。	・学校の課題を理解し、解決するための校内外の研修に積極的に参加するとともに、適切な情報の活用・再構成などを通して、高度な指導力など、中堅段階に求められる資質能力を高めるため、学び続けようとしている。	・組織的・協働的な体制づくりの重要性を理解し、組織マネジメント等の研修に積極的に参加するとともに、適切な情報の活用・再構成などを通して、人材育成や地域との連携・協働など、ベテラン段階に求められる資質能力を高めるため、学び続けようとしている。
教育の専門家として、実践的指導力や専門性の向上に、主体的に取り組む教員	教科等や教職に関する専門的な知識・技能	・教職の意義や教員の役割、職務内容等に関する基礎的な知識・技能を身に付けている。 ・自律的に研修を進めるための基礎的な知識・技能を身に付けている。	・教職の意義や教員の役割、職務内容等に関する基本的な知識・技能を身に付け、職務に生かしている。 ・自らの課題解決に向け、自律的に研修を進めている。	・教職の意義や教員の役割、職務内容等に関する深い知識・技能を身に付け、職務に生かしている。 ・学校の課題の解決に向け、自律的に研修を進めている。	・教職の意義や教員の役割、職務内容等に関する深い知識・技能を身に付け、職務や職場の意識向上に生かしている。 ・学校の課題の解決に向け、自律的に研修を進める校内体制を整えている。
	保健管理・危機管理	・学校保健安全法を理解するとともに、子どもの実態把握の必要性を認識し、適切な保健管理の必要性を理解している。 ・危機管理の重要性を理解するとともに、事故発生時には危機を察知して判断と対応を行おうとしている。	・保健情報を総合的に評価して健康課題を把握し、その解決に向けた取組を計画的・組織的に進めている。 ・全ての子どもたちの命や健康を守るための環境や緊急時の救急体制を整備するとともに、事故等の発生時には、適切な判断の下、速やかに対応・報告等を行っている。	・把握した健康課題の解決に向けて保健情報を効果的に発信しながら課題提起を行い、校内外の連携体制を構築したり、積極的に専門家の協力を得たりするなど、組織的に対応している。 ・危機を予測し、未然防止に向けてリーダーシップを発揮するとともに、チームとして早期発見、早期対応を組織的に進めている。	・自校の健康課題の解決に向けて効果的に課題提起を行い学校全体で保健管理に取り組むとともに、必要に応じて迅速に専門家と連携を図ることができる体制を整備し、組織的に取り組んでいる。 ・事件事故・災害に備えた予防的措置や、救急体制や心のケアを含めた危機発生時の短期・長期的な対応に関するマニュアルの整理など、管理職の管理・監督の下、危機管理に係る組織的な取組の充実に向け、中心的な役割を果たしている。
	保健教育	・学習指導要領を理解するとともに、学習者中心の保健教育の創造に向け、養護教諭の専門性を生かした保健教育を実施することの重要性を理解している。	・自校の健康課題の解決を図る学習者中心の保健教育の創造に向け、深い学びにつながる教材研究や学習過程の検討を学級担任等と協働して行い、ねらいを明確にした指導計画を作成し、子どもの学習過程を捉えて養護教諭の専門性を生かした保健教育を意図的・計画的に行っている。	・自校の健康課題の解決を図る学習者中心の保健教育の創造に向け、専門性を生かして、ねらいを達成できる指導計画を作成し、子どもの学習状況を捉えて養護教諭の専門性を生かした保健教育を意図的・計画的に展開するとともに、他の教員の保健教育に係る指導力向上にも取り組んでいる。	・自校の健康課題の解決を図る学習者中心の保健教育の創造に向け、専門性を生かして、自校の健康課題の解決に向けた指導計画を、カリキュラム・マネジメントの観点から、学級担任等と連携を図って作成し、子どもの学習状況を捉えて学校の教育活動全体を通して効果的に展開し、保健教育に係る取組について、中心的な役割を果たしている。
	健康相談・保健指導／生徒指導	<p>子ども理解力</p> <ul style="list-style-type: none"> ・子どもの発達の段階に応じてよく見られる心身の疾病や障がい、子ども理解の意義や重要性を理解し、子ども一人一人に積極的に関わろうとしている。 <p>子どもへの指導力</p> <ul style="list-style-type: none"> ・養護教諭の専門性や保健室の機能を生かした健康相談・保健指導の必要性を理解するとともに、個や集団を指導する手立てを理解している。 ・子どもの個性や能力の伸長と健全な心身の育成を通して、子どもの自己実現を図る指導の重要性を理解している。 	<p>子ども理解力</p> <ul style="list-style-type: none"> ・現代的な健康課題との関連を考えながら、子ども一人一人のよさや可能性、成長の余地をはじめ、家庭環境などの背景を理解して子どもと向き合っている。 <p>子どもへの指導力</p> <ul style="list-style-type: none"> ・子どもの発するサインを見逃すことなく予防的な対応を行い、個々の悩みや思いを共感的に受け止めるなど、学校生活への適応や人格の形成への援助を行っている。 ・個々に即した目標を設定し、子どもの自己実現を図る個別の保健指導や健康相談を行っている。 	<p>子ども理解力</p> <ul style="list-style-type: none"> ・保健室から得られる情報(保健室利用状況、健康相談結果等)を整理し、子どもの心身の健康課題や諸問題とその背景を広い視野から捉え、子ども一人一人を的確に理解し、寄り添った対応をしている。 <p>子どもへの指導力</p> <ul style="list-style-type: none"> ・校内での情報共有に努めながら、医学的な情報や現代的な健康課題の傾向等を踏まえ、課題解決に向けて的確に分析し伝えるとともに、学校生活への適応や一人一人の子ども自己実現を図る健康相談・保健指導等を展開している。 	<p>子ども理解力</p> <ul style="list-style-type: none"> ・養護教諭の専門性や保健室の機能を生かし、子ども一人一人を的確に理解するとともに、教職員相互に情報を共有できるように校内体制を整え、効果的な手立てを講じている。 <p>子どもへの指導力</p> <ul style="list-style-type: none"> ・子どもの心身の健康や生徒指導上の課題解決に向け、適切なアセスメントを行い、具体的な方策を提案するとともに、地域の初任段階養護教諭に対し、範を示したり、これまでの経験を踏まえた「心構え」や「コツ」を伝えたりしている。

	<p>組織的な対応力</p> <ul style="list-style-type: none"> 学校保健安全法による健康相談及び保健指導の位置付けや関連性を理解するとともに、組織的な対応の必要性を理解し、実践しようとしている。 	<ul style="list-style-type: none"> 健康相談の基本的なプロセスを理解するとともに、家庭や教職員をはじめ、学校医、SC、SSW等を含めた校内組織で情報を共有しながら、医療機関への受診や学校全体での対応の必要性について組織的に判断し、対応している。 	<ul style="list-style-type: none"> 校内支援体制の充実に努めるとともに、学校医等の専門職や関係機関と連携し、個々の健康課題の解決に向け、組織的な健康相談・保健指導を展開している。 	<ul style="list-style-type: none"> 家庭や校外の様々な関係者、関係機関と連携して組織体制を整え、迅速かつ適切に課題解決に当たっている。
	<p>保健室経営</p> <ul style="list-style-type: none"> 学校保健活動のセンター的役割を果たす保健室の役割や養護教諭の職務を理解するとともに、計画的・組織的に保健室経営を推進する意義や関係法令について理解している。 	<ul style="list-style-type: none"> 学校の教育目標を受け、自校の健康課題を踏まえて目標を設定し、保健室経営計画を策定するとともに、全ての教職員と共通理解を図りながら、計画的・組織的に保健室経営に当たっている。 	<ul style="list-style-type: none"> 自校の健康課題を解決するため、保健室経営計画を策定し、学校保健計画に反映させながら教職員、保護者等への周知を図るとともに、実施、評価、改善を行い、効果的に保健室経営を推進している。 	<ul style="list-style-type: none"> 学校経営の視点やカリキュラム・マネジメントの観点から、学校教育目標達成に向けた保健室経営の具体的な方策を提案し、学校、家庭、地域の連携のもとに、保健室経営と学校保健活動を関連付けて、計画的、組織的に推進している。
	<p>保健組織活動</p> <ul style="list-style-type: none"> 学校保健に関する学校・家庭・地域等の協力体制の重要性を理解している。 	<ul style="list-style-type: none"> 自校の健康課題の解決に向け、保健組織活動の企画・運営や学校保健計画の策定に参画し、家庭や地域の関係機関等と連携して日常の実践を進めている。 	<ul style="list-style-type: none"> 保健組織活動が活性化するように、地域の人材や専門機関を適切に選択し、連携・協働するとともに、内容の工夫、改善を図り、学校保健計画に反映させながら効果的に推進している。 	<ul style="list-style-type: none"> 近隣の各学校や地域、関係機関と連携し、地域レベルでの子どもの健康づくりを推進する中心的な役割を果たしている。
	<p>今日的な教育課題への対応力(主体的・対話的で深い学び、カリキュラム・マネジメント、道德教育、外国語教育・国際理解教育)</p> <ul style="list-style-type: none"> 今日的な教育課題への対応が求められる背景や重要性について理解している。 	<ul style="list-style-type: none"> 今日的な教育課題への対応が求められる背景や重要性について理解し、実践、改善に取り組んでいる。 	<ul style="list-style-type: none"> 今日的な教育課題への対応推進上の課題を理解し、その解決に向けて実践、評価、改善等に取り組んでいる。 	<ul style="list-style-type: none"> 今日的な教育課題への対応推進上の課題解決に向け、実践、評価、改善に取り組むとともに、範を示したり、助言したりしている。
	<p>特別な配慮や支援を必要とする子どもへの対応力</p> <ul style="list-style-type: none"> 特別支援教育の動向や特別な配慮や支援を必要とする子どもの特性等について理解している。 	<ul style="list-style-type: none"> 特別支援教育の動向や特別な配慮や支援を必要とする子どもの特性等を理解し、教育的ニーズ等に対応している。 組織的な対応に必要な知識・具体的な支援内容・体制を理解し、学習上、生活上の支援を工夫している。 	<ul style="list-style-type: none"> 特別な配慮や支援を必要とする子どもの特性等を深く理解し、教育的ニーズ等に的確に対応している。 学校における特別支援教育推進上の課題を理解し、その解決に向けて組織的に学習上、生活上の支援を工夫している。 	<ul style="list-style-type: none"> 特別な配慮や支援を必要とする子どもの特性等を深く理解するとともに、全ての子どもを俯瞰(ふかん)し、教育的ニーズ等に的確に対応している。 学校における特別支援教育推進上の課題解決に向けた組織的な学習上、生活上の支援の工夫などについて、範を示したり、助言したりしている。
	<p>ICTや情報・教育データを利活用する力</p> <ul style="list-style-type: none"> 校務等でICTを効果的に活用する目的と方法や重要性について理解している。 	<ul style="list-style-type: none"> 校務等でICTを効果的に活用するとともに、教育データを適切に活用している。 	<ul style="list-style-type: none"> 学校における「ICTや情報・教育データの利活用」推進上の課題を理解し、その解決に向けて取り組んでいる。 校務等でICTや教育データを効果的に活用するとともに、学校全体のICTの効果的な活用促進に向けて取り組んでいる。 	<ul style="list-style-type: none"> 学校における「ICTや情報・教育データの利活用」推進上の課題解決に中心となって取り組んでいる。 校務等でICTや教育データを効果的に活用するとともに、範を示したり、助言したりしている。
<p>学校づくりを担う一員として、地域等とも連携・協働しながら、課題解決に取り組む教員</p>	<p>学校づくりを担う一員としての自覚と協調性</p> <ul style="list-style-type: none"> 教育公務員として、社会と協働して職務を円滑に遂行する上で必要となる職業観や人間関係のほか、公共心や社会通念などの重要性を理解している。 	<ul style="list-style-type: none"> 教育公務員として、社会と協働して職務を円滑に遂行する上で必要となる職業観や人間関係のほか、公共心や社会通念などの重要性を理解し、それに基づき行動している。 	<ul style="list-style-type: none"> 教育公務員として、社会と協働して職務を円滑に遂行する上で必要となる職業観や人間関係のほか、公共心や社会通念などの重要性を深く理解し、それに基づき行動するとともに、経験の浅い教職員に指導助言を行っている。 	<ul style="list-style-type: none"> 教育公務員として、社会と協働して職務を円滑に遂行する上で必要となる職業観や人間関係のほか、公共心や社会通念などの重要性を深く理解し、それに基づき職場で率先して行動するとともに、社会性を向上させる職場意識を高める校内体制を整えている。
	<p>コミュニケーション能力(対人関係能力を含む)</p> <ul style="list-style-type: none"> 自らの考えや意見などを相手に分かりやすく伝えるとともに、相手の考えの傾聴に努めるなど、互いを尊重して意思疎通を行い、良好な人間関係を構築している。 	<ul style="list-style-type: none"> 自らの考えや学校の方針等を子どもや保護者等に分かりやすく伝えるとともに、相手の意図を正確に理解し、円滑に意思疎通を行い、良好な人間関係を構築している。 自らの職務の充実に向け、上司や同僚などに相談や質問等を積極的に行っている。 	<ul style="list-style-type: none"> 自らの考えや学校の方針等を子どもや保護者、地域等に分かりやすく説明するとともに、相手が意図する背景を含めて正確に理解し、新たな方向性を見出すなど発展的な意思疎通を行い、良好な人間関係を構築している。 上司や同僚などと建設的な意見交換を行っている。 	<ul style="list-style-type: none"> 自らの考えや学校の方針等を子どもや保護者、地域等の立場にも配慮しながら分かりやすく説明するとともに、相手が意図する背景を含めて正確に理解し、課題解決に向けて共通認識に立ち実際の行動につながる意思疎通を行い、良好な人間関係を構築している。 上司や同僚などと建設的な意見交換を行っている。
	<p>組織的・協働的な課題対応・解決能力</p> <ul style="list-style-type: none"> 自らの学びと実践の省察や集団の中で協働的に行動することを通じて、課題対応・解決能力を身に付けていくことの重要性を理解している。 生命・心身を脅かす事故災害等、危機管理の知識や視点をもつことの重要性を理解している。 	<ul style="list-style-type: none"> 自らの学びと実践の省察をし、組織の一員としての自覚をもって、学校づくりに関わり、求められる役割を果たしている。 生命・心身を脅かす事故災害等、危機管理の知識や視点を備え、教育活動に生かしている。 	<ul style="list-style-type: none"> 自らの学びと実践の省察を通じて身に付けた課題対応・解決能力を生かし、組織の一員として積極的に学校づくりに関わり、互いのよさを認め合い、それぞれの課題対応・解決能力を生かして計画的に課題解決に当たっている。 生命・心身を脅かす事故災害等、危機管理の知識や視点を備え、安心安全な教育活動を推進している。 	<ul style="list-style-type: none"> 全校的な視野に立ち、他の教職員とも協働しながら、一人一人の役割と課題対応・解決能力を生かして、持続可能で計画的に課題解決に当たっている。 生命・心身を脅かす事故災害等、危機管理の知識や視点を備えるとともに、安心安全な学校運営のため、校内体制を整えている。
	<p>地域等との連携・協働力</p> <ul style="list-style-type: none"> 保護者や地域等との連携の重要性を理解している。 	<ul style="list-style-type: none"> 子どもの家庭及び地域社会の状況や自身や学校の強み・弱みの理解に基づき、保護者や地域等との連携の重要性を理解し、積極的に関わり、連携・協働して対応している。 	<ul style="list-style-type: none"> 子どもの家庭及び地域社会の状況や自身や学校の強み・弱みの深い理解に基づき、保護者・地域・関係機関等との関わりを深め、連携・協働して対応している。 	<ul style="list-style-type: none"> 子どもの家庭及び地域社会の状況や自身や学校の強み・弱みの深い理解に基づき、保護者・地域・関係機関等との連携・協働のネットワークを構築して学校の運営に当たっている。
	<p>人材育成に貢献する力</p> <ul style="list-style-type: none"> 他者の意見やアドバイスに耳を傾け、互いに高め合おうとしている。 	<ul style="list-style-type: none"> 他の教職員との関わりを大切にし、疑問点や悩みを相談したり、共有し合ったりしながら、互いに高め合おうとしている。 	<ul style="list-style-type: none"> 互いの課題や悩みに気付き、支え合える環境をつくるとともに、経験の浅い教職員に指導助言を行っている。 地域の初任段階養護教諭の指導力向上に向け、助言を行っている。 	<ul style="list-style-type: none"> 人材育成の重要性を踏まえ、支え合える環境をつくるとともに、経験の浅い教職員への指導助言やミドルリーダーの育成に取り組んでいる。 校内や地域等で学校保健活動に関する指導助言を行い、地域の学校保健に関する取組の質の向上に貢献している。

(2) 栄養教諭教員育成指標

※「養成段階」…「養成段階」には、新規に採用する教員に対して任命権者が求める資質能力を掲載

求める教員像	栄養教諭教員育成指標					
	キャリアステージ キーとなる資質能力	養成段階※	初任段階	中堅段階	ベテラン段階	
教育者として、強い使命感・倫理観と、子どもへの深い教育的愛情を、常に持ち続ける教員	教育的愛情	・子ども一人一人に愛情をもち、よさや可能性などに目を向けようとしている。	・子どもへの愛情に基づき、一人一人の個性を尊重し、よさや可能性、成長の余地などに目を向け、伸ばしている。	・子どもへの愛情に基づき、学校の教育活動を推進している。	・子どもへの愛情に基づき、学校の教育活動を推進するため、職場全体の意識が高まるような働きかけを行っている。	
	使命感や責任感・倫理観	・子どもの育ちと学びに責任をもち、教育公務員として遵守すべき法令や職務、時代に応じた教育、学校の社会的役割・服務等を理解している。	・子どもの育ちと学びに責任をもち、教育公務員に係る法令等を遵守するとともに、時代に応じた教育、学校の社会的役割・服務等を理解し、職務上の義務を果たしている。	・子どもの育ちと学びに責任をもち、教育公務員に係る法令等を遵守するとともに、時代に応じた教育、学校の社会的役割・服務等を深く理解し、職務上の義務を果たし、子どもや保護者等の期待に応える教育活動を行っている。	・子どもの育ちと学びに責任をもち、教育公務員に係る法令等を遵守するとともに、時代に応じた教育、学校の社会的役割・服務等を深く理解し、職務上の義務を果たすこととはもとより、職場全体の意識が高まるような働きかけを行っている。	
	総合的人間力	・社会体験等を通して、人間性、社会性、協調性を身に付けている。	・上司や同僚、保護者との関わりの中で、人間性、社会性、協調性を高めている。	・上司や同僚、保護者、地域との関わりの中で、人間性、社会性、協調性をバランスよく高めている。	・教職員相互に、人間性、社会性、協調性をバランスよく高め合える校内体制を整えている。	
	教職に対する強い情熱・人権意識	・人権意識に基づき、地域のボランティア活動や実習先の学校の教育活動において、全ての子どもを尊重しようとしている。	・人権意識に基づき、地域の行事や社会教育活動、学校の教育活動において、全ての子どもを尊重するとともに、教職への誇りを有している。	・人権意識に基づき、全ての子どもを尊重するとともに、教職への誇りを有している。	・人権意識に基づき、全ての子どもを尊重するとともに、教職への誇りを有し、職場全体の意識が高まるような働きかけを行っている。	
	主体的に学び続ける姿勢	・研修の法的な位置付けや、情報の収集・選択・活用の重要性を理解している。	・初任段階栄養教諭等研修や情報の収集・選択・活用を通して、実践的指導力など、初任段階に求められる資質能力を身に付けるため、学び続けようとしている。	・学校の課題を理解し、解決するための校外の研修に積極的に参加するとともに、適切な情報の活用・再構成などを通して、高度な指導力など、中堅段階に求められる資質能力を高めるため、学び続けようとしている。	・組織的・協働的な体制づくりの重要性を理解し、組織マネジメント等の研修に積極的に参加するとともに、適切な情報の活用・再構成などを通して、人材育成や地域との連携・協働など、ベテラン段階に求められる資質能力を高めるため、学び続けようとしている。	
教育の専門家として、実践的指導力や専門性の向上に、主体的に取り組む教員	教科等や教職に関する専門的な知識・技能	・教職の意義や教員の役割、職務内容等に関する基礎的な知識・技能を身に付けている。 ・自律的に研修を進めるための基礎的な知識・技能を身に付けている。	・教職の意義や教員の役割、職務内容等に関する基本的な知識・技能を身に付け、職務に生かしている。 ・自らの課題解決に向け、自律的に研修を進めている。	・教職の意義や教員の役割、職務内容等に関する深い知識・技能を身に付け、職務に生かしている。 ・学校の課題の解決に向け、自律的に研修を進めている。	・教職の意義や教員の役割、職務内容等に関する深い知識・技能を身に付け、職務や職場の意識向上に生かしている。 ・学校の課題の解決に向け、自律的に研修を進める校内体制を整えている。	
	栄養管理・衛生管理	栄養管理	・学校給食の役割について理解している。 ・日本人の食事摂取基準や成長期の栄養管理、予算等に配慮した献立作成について理解している。	・学校給食摂取基準を踏まえ、食品構成及び食育の観点を考慮した献立作成を実践しようとしている。 ・学校給食の調理、配食に関し、調理従事者へ適切な指導助言をしている。	・学校給食摂取基準を踏まえ、対象となる児童生徒の体格や生活活動の実態を考慮した栄養量の基準を作成し、地域の特性を生かした食品構成及び食育の観点等を考慮した献立を作成している。 ・学校給食の調理、配食に関し、調理従事者へ適切な指導助言をするなど、その改善に取り組んでいる。	・学校給食摂取基準を踏まえ、学校給食の充実を図る献立作成に関し、地域等において啓発している。 ・学校給食における調理、配食に関し、調理従事者と連携した適切な栄養管理について、地域等において啓発している。
		衛生管理	・食品衛生法、食中毒菌等について理解し、衛生管理の重要性を理解している。	・学校給食衛生管理基準に基づき、調理従事者等に対し、衛生、施設設備の衛生及び食品衛生等について適切に指導している。	・学校給食衛生管理基準に基づき、調理従事者等に対し、衛生、施設設備の衛生及び、食品衛生等について適切に指導し、その改善に取り組んでいる。	・学校給食衛生管理基準に基づき、担当する学校や調理場の衛生管理体制について評価し、課題を改善するとともに、地域等において適切な衛生管理について啓発している。
		栄養相談	・栄養相談の基本的なプロセスを理解している。 ・肥満、痩身、生活習慣病、食物アレルギー等やスポーツ栄養に関する基礎的な知識を理解している。	・栄養相談の基本的なプロセスを理解し、食物アレルギー等、個々の子どもの状況に応じて、保護者と連携し、健康課題について適切に対応している。	・栄養相談の基本的なプロセスを理解し、専門職として身に付けた技術を生かし、教職員や保護者と連携して適切な対応をし、その改善に取り組んでいる。	・栄養相談の基本的なプロセスを理解し、偏食、肥満、痩身、生活習慣病、食物アレルギー等の子どもの健康課題に関して教職員へ啓発している。
		調査研究等	・研修会に積極的に参加する意欲をもち、子どもの実態を把握するための調査の意義や方法を理解している。	・校内研修や校外の研究会に積極的に参加し、栄養教諭としての資質を高めるとともに、子どもの実態把握に努めるなど、給食管理や食育に取り組んでいる。	・校内研修、校外の研究会の企画・運営に携わり、栄養教諭としての知識・能力・授業力の向上を図るとともに、子どもの実態調査に基づいた給食管理や食育を行うなど、その改善に取り組んでいる。	・研修等で得た情報や自らの実践を教職員に対し、広く情報発信して、啓発している。
食に関する実践的指導力	立案と推進	・食に関する指導の全体計画の作成について理解している。	・食に関する指導に関わる教科等の学習指導要領や、その他の活動における指導内容について、系統性や各学習の関連を図りながら体系的、継続的に食育を推進している。	・食に関する指導に関わる教科等の学習指導要領やその他の活動における指導内容について、系統性や各学習の関連を図りながら体系的、継続的に食育を推進するなど、その改善に取り組んでいる。	・食に関する指導に関わる各教科等の学習指導要領やその他の活動における指導内容について、系統性や各学習の関連を図りながら体系的、継続的に食育を推進し、学級担任や教科担任等へ食に関する指導について啓発している。	
	指導内容	・学習指導要領等を踏まえ、教科等の目標や内容と食に関する指導とを関連付けて指導するため、栄養に関する専門的な立場から、教科等の学習過程に「食育の視点」を位置付けて指導することの重要性を理解している。	・学習指導要領等を踏まえ、教科等の目標や内容と食に関する指導とを関連付けて指導するため、栄養に関する専門的な立場から、教科等の学習過程に「食育の視点」を位置付けて指導している。	・学習指導要領等を踏まえ、教科等の目標や内容と食に関する指導とを関連付けて指導するため、栄養に関する専門的な立場から、教科等の学習過程に「食育の視点」を位置付けて指導し、その改善に取り組んでいる。	・学習指導要領等を踏まえ、教科等の目標や内容と食に関する指導とを関連付けて指導するため、栄養に関する専門的な立場から、教科等の学習過程に「食育の視点」を位置付けて指導し、学級担任や教科担任等へ食に関する指導について啓発している。	

	<p>指導技術と指導形態</p> <ul style="list-style-type: none"> 子どもの発達段階に応じた指導技術について理解している。 	<ul style="list-style-type: none"> 集団や個の食に関する課題を把握し、発達の段階に応じて指導している。 	<ul style="list-style-type: none"> 集団や個の食に関する課題を把握し、発達の段階に応じた指導を行い、その改善に取り組んでいる。 	<ul style="list-style-type: none"> 集団や個の食に関する課題を把握し、発達の段階に応じて指導し、学級担任や教科担任等へ食に関する指導について啓発している。
	<p>今日的な教育課題への対応力(主体的・対話的で深い学び、カリキュラム・マネジメント、道徳教育、外国語教育・国際理解教育)</p>	<ul style="list-style-type: none"> 今日的な教育課題について理解している。 	<ul style="list-style-type: none"> 今日的な教育課題を理解し、教育活動の中で課題解決に取り組んでいる。 	<ul style="list-style-type: none"> 今日的な教育課題を理解し、学級担任等と連携を図りながら教育活動の中で課題解決に取り組むなど、その改善に取り組んでいる。
	<p>子ども理解力</p>	<ul style="list-style-type: none"> 子ども理解の意義や重要性を理解している。 	<ul style="list-style-type: none"> 子ども一人一人のよさや可能性、成長の余地をはじめ、家庭環境などを理解して子どもと向き合っている。 	<ul style="list-style-type: none"> 子どもを取り巻く様々な環境や背景を含め、子ども一人一人を的確に理解している。
	<p>特別な配慮や支援を必要とする子どもへの対応力</p>	<ul style="list-style-type: none"> 特別支援教育の動向や特別な配慮や支援を必要とする子どもの特性等について理解している。 	<ul style="list-style-type: none"> 特別支援教育の動向や特別な配慮や支援を必要とする子どもの特性等を理解し、教育的ニーズ等に対応している。 組織的な対応に必要な知識・具体的な支援内容・体制を理解し、学習上、生活上の支援を工夫している。 	<ul style="list-style-type: none"> 特別な配慮や支援を必要とする子どもの特性等を深く理解し、教育的ニーズ等に的確に対応している。 学校における特別支援教育推進上の課題を理解し、その解決に向けて組織的に学習上、生活上の支援を工夫している。
	<p>ICTや情報・教育データを利活用する力</p>	<ul style="list-style-type: none"> 授業や校務等でICTを効果的に活用する目的と方法や重要性について理解している。 	<ul style="list-style-type: none"> 授業や校務等でICTを効果的に活用するとともに、教育データを適切に活用している。 	<ul style="list-style-type: none"> 学校における「ICTや情報・教育データの利活用」推進上の課題を理解し、その解決に向けて取り組んでいる。 授業や校務等でICTや教育データを効果的に活用するとともに、学校全体のICTの効果的な活用促進に向けて取り組んでいる。
<p>学校づくりを担う一員として、地域等とも連携・協働しながら、課題解決に取り組む教員</p>	<p>学校づくりを担う一員としての自覚と協調性</p>	<ul style="list-style-type: none"> 教育公務員として、社会と協働して職務を円滑に遂行する上で必要となる職業観や人間関係のほか、公共心や社会通念などの重要性を理解している。 	<ul style="list-style-type: none"> 教育公務員として、社会と協働して職務を円滑に遂行する上で必要となる職業観や人間関係のほか、公共心や社会通念などの重要性を理解し、それに基づき行動している。 	<ul style="list-style-type: none"> 教育公務員として、社会と協働して職務を円滑に遂行する上で必要となる職業観や人間関係のほか、公共心や社会通念などの重要性を深く理解し、それに基づき行動するとともに、経験の浅い教職員に指導助言を行っている。
	<p>コミュニケーション能力(対人関係能力を含む)</p>	<ul style="list-style-type: none"> 自らの考えや意見などを相手に分かりやすく伝えるとともに、相手の考えの傾聴に努めるなど、互いを尊重して意思疎通を行い、良好な人間関係を構築している。 	<ul style="list-style-type: none"> 自らの考えや学校の方針等を子どもや保護者等に分かりやすく伝えるとともに、相手の意図を正確に理解し、円滑に意思疎通を行い、良好な人間関係を構築している。 自らの職務の充実に向け、上司や同僚などに相談や質問等を積極的に行っている。 	<ul style="list-style-type: none"> 自らの考えや学校の方針等を子どもや保護者、地域等に分かりやすく説明するとともに、相手が意図する背景を含めて正確に理解し、新たな方向性を見出すなど発展的な意思疎通を行い、良好な人間関係を構築している。 上司や同僚などと建設的な意見交換を行っている。
	<p>組織的・協働的な課題対応・解決能力</p>	<ul style="list-style-type: none"> 自らの学びと実践の省察や集団の中で協働的に行動することを通じて、課題対応・解決能力を身に付けていくことの重要性を理解している。 生命・心身を脅かす事故災害等、危機管理の知識や視点をもつことの重要性を理解している。 	<ul style="list-style-type: none"> 自らの学びと実践の省察をし、組織の一員としての自覚をもって、学校づくりに関わり、求められる役割を果たしている。 生命・心身を脅かす事故災害等、危機管理の知識や視点を備え、教育活動に生かしている。 	<ul style="list-style-type: none"> 自らの学びと実践の省察を通じて身に付けた課題対応・解決能力を生かし、組織の一員として積極的に学校づくりに関わり、互いのよさを認め合い、それぞれの課題対応・解決能力を生かして計画的に課題解決に当たっている。 生命・心身を脅かす事故災害等、危機管理の知識や視点を備え、安心安全な教育活動を推進している。
	<p>地域等との連携・協働力</p>	<ul style="list-style-type: none"> 保護者や地域等との連携の重要性を理解している。 	<ul style="list-style-type: none"> 子どもの家庭及び地域社会の状況や自身や学校の強み・弱みの理解に基づき、保護者や地域等との連携の重要性を理解し、積極的に関わり、連携・協働して対応している。 	<ul style="list-style-type: none"> 子どもの家庭及び地域社会の状況や自身や学校の強み・弱みの深い理解に基づき、保護者・地域・関係機関等との関わりを深め、連携・協働して対応している。
	<p>人材育成に貢献する力</p>	<ul style="list-style-type: none"> 他者の意見やアドバイスに耳を傾け、互いに高め合おうとしている。 	<ul style="list-style-type: none"> 他の教職員との関わりを大切にし、疑問点や悩みを相談したり、共有し合ったりしながら、互いに高め合おうとしている。 	<ul style="list-style-type: none"> 互いの課題や悩みに気付き、支え合える環境をつくるとともに、経験の浅い教職員に指導助言を行っている。

(3) 学校管理職育成指標

目指す管理職像		<ul style="list-style-type: none"> ・深い教育的愛情や豊かな教育経験、確かな職業倫理を基にリーダーシップを発揮する管理職 ・学校ビジョンを具現化し、教育活動の質の向上・教職員の資質能力の向上を図る体制整備を進める管理職 ・家庭・地域と連携・協働し、人的・物的・財政的・情動的な資源を効果的に活用する管理職 		
キャリアステージ	管理職候補者	副校長・副園長・教頭	校長・園長	
キーとなる資質能力	期待される具体の姿（例示）			
学校・園経営力	子ども一人一人への深い教育的愛情のもと、校長・園長の経営方針に基づき、それを達成するため、管理職や同僚、地域等と協働して実践するほか、必要に応じて企画・提案し、職場の協働体制の充実に努めている。	子ども一人一人への深い教育的愛情のもと、校長・園長の経営方針に基づき、それを達成するための方策や評価・改善の仕組みの具体化に向け、教職員や地域等と協働して企画・提案、調整・推進し、学校・園の経営を助けている。	子ども一人一人への深い教育的愛情のもと、国や道、市町村の教育改革の方向性や社会の変化、保護者・地域等の期待を踏まえ、学校・園及び子どもたちの実態を把握し課題を明確にした上で、目指す学校・園の姿を経営方針やグランドデザインとして示し、それを達成するための方策や評価・改善の仕組みを具体化して、教職員や地域等との協働による学校・園の経営を行っている。	
使命感・責任感	<ul style="list-style-type: none"> ・学校教育に携わる者としての熱意や姿勢を一貫して保ち、子どもたちや同僚に対する関心と愛情・人権意識をもっている。 ・教育・保育の実践に当たり、国や道、市町村の教育改革の方向性や社会の変化、保護者・地域等の期待を踏まえ、経営方針の具現化に向け、教職員のリーダーとして、組織的な実践等に対する責任を担っている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・副校長・副園長・教頭としての熱意や姿勢を一貫して保ち、子どもたちや教職員に対する関心と愛情・人権意識をもっている。 ・学校・園の経営を助ける者として、国や道、市町村の教育改革の方向性や社会の変化、保護者・地域等の期待を踏まえ、経営方針の具現化に向けた取組の推進に対する責任を担っている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・所属長としての熱意や姿勢を一貫して保ち、子どもたちや教職員に対する関心と愛情・人権意識をもっている。 ・学校・園の最高責任者として、教育活動や教職員の服務等について説明責任や結果責任を担っている。 	
教育理念とリーダーシップ	<ul style="list-style-type: none"> ・教育・保育に関する見識をもち、自らの教育理念を高めるとともに、個々の教職員による実践等の相談などに対応するほか、実践を通して得た成果や課題を経営方針に反映できるよう、必要な企画・提案などを行っている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・教育・保育に関する高い見識をもち、自らの教育理念を高め続けるとともに、学校と社会が目指すべき目標を共有化し、なすべき仕事や役割を理解できるよう、具体的な業務を企画・提案、調整・推進している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・教育・保育に関する高い見識と崇高な教育理念をもつとともに、学校と社会が目指すべき目標を共有化し、なすべき仕事や役割を理解できるよう、校務分掌等の学校・園内体制を明確化している。 ・学校の最高責任者として、自らの職務の省察を通して、不断の資質向上に努めている。 	
課題等を把握する力	<ul style="list-style-type: none"> ・課題等の把握・整理・根拠に基づいた分析の実施に当たっては、日々の実践と関連付けて確実に実行するなど、学校・園内外の共通理解を図るほか、効果的な体制づくりや方策等の企画・提案などを行っている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・課題等の把握・整理・根拠に基づいた分析を確実に実行し、学校・園内外の共通理解を図るほか、効果的な体制づくりや方策等の企画・提案などを行っている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・学校・園及び子どもたちの実態や課題、学校・園に寄せられる期待を的確かつ効果的に把握・整理し、根拠に基づいた分析結果を共有する体制や方策を整備するほか、その必要性や意義などを明確化している。 	
経営ビジョンを構想する力	<ul style="list-style-type: none"> ・経営ビジョンの構想に当たり、日々の実践と関連付けて、その方向性の具現化に向けた効果的な業務の在り方や、必要な情報等を整理し提供している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・経営ビジョンの構想に当たり、その方向性の具現化に向けた業務を想定し、必要な情報等を整理し提供している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・学校・園及び子どもたちの実態や課題、学校・園に寄せられる期待を踏まえ、これからの時代を生きる子どもたちを育てる方向性や方策の概要等を中長期的に描き、学校・園内外に発信している。 	
学校・園内外の協働体制を構築する力	<ul style="list-style-type: none"> ・経営ビジョンの具現化に向けた業務の推進に当たり、自ら実践することはもとより、管理職や同僚、地域等との協働に積極的に取り組んでいる。 ・また、業務を推進する中での成果や課題を関係者で共有し、副校長・副園長・教頭への報告・相談等を行うなど、取組の充実に努めている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・経営ビジョンの具現化に向けた業務の推進に当たり、教職員や地域等と協働して取り組んでいる。 ・また、進捗状況の把握、必要に応じた修正を適宜実施するほか、校長・園長への報告、相談等を行うなど、確実に進行管理を行っている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・経営ビジョンを具現化できるよう、教職員や地域等と協働して、目標や計画等を策定し、役割と責任及び目標達成レベルや取組方法、期限等を明確にした組織づくりを行い、学校の教育力の最大化を図っている。 ・特に、副校長・副園長・教頭・ミドルリーダーの役割と責任を明確化している。 	
人材を育成する力	<ul style="list-style-type: none"> ・教職員が心理的安全性の下、資質能力を向上するための機会と仕組みを活用するほか、自らの資質能力を高め続ける姿勢を有している。 ・また、若手教員への効果的な指導助言をはじめ、職場で相互に高め合う雰囲気醸成、同僚の相談への対応、配慮ある助言等、ミドルリーダーとしての役割も果たしている。 ・さらに、日々の業務の中で、管理職と連携して、働き方改革を推進するとともに、服務規律の遵守やメンタルヘルスにも留意している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・教職員が心理的安全性の下、資質能力を向上するための機会と仕組みを活用して、実態に応じた研修等の企画や相談等に対応したり、配慮ある指導助言をしたりしている。 ・また、若手教員を育成する学校内外の環境・体制づくりをはじめ、職場で互いに高め合う雰囲気醸成、教職員の相談への対応等を、校長の方針等に基づき行っている。 ・さらに、日常の教職員の勤務時間を適切に把握し、働き方改革を推進するとともに、服務規律の遵守やメンタルヘルスにも留意している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・教職員が心理的安全性の下、資質能力を向上するための機会や仕組みをつくり、教員育成指標を踏まえるなど、個々のキャリアステージに応じた配慮ある指導助言を日常的に行っている。 ・また、若手教員を育成する学校内外の環境・体制づくりをはじめ、職場で互いに高め合う雰囲気醸成、教職員の相談への対応等を計画的に行っている。 ・さらに、学校の現状を的確に捉えて時間外勤務縮減に向けた業務改善方針・計画を踏まえ働き方改革を推進するとともに、服務規律の遵守やメンタルヘルスにも留意する学校・園内の体制を整えている。 	
保護者・地域等と協働する力	<ul style="list-style-type: none"> ・日ごろから、保護者・地域等との協働に努め、学校・園の方針を实践を通して発信するとともに、保護者・地域等の声を積極的に把握・整理して副校長・副園長・教頭に報告するほか、必要に応じた提案、同僚や保護者・地域等からの相談への対応を行っている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・学校・園の方針を計画的に発信するとともに、校長・園長が、経営方針や学校・園の活動等への反映の可否を判断できるよう、保護者・地域等の声を正確に把握・整理して報告するほか、必要に応じた対応の提案、保護者・地域等からの相談への対応を行っている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・地域とともにある学校を目指し、あらゆる機会を捉えて、経営方針を発信するとともに、保護者・地域等の声を積極的に把握・反映する体制をつくるなど、協働体制の基盤を整えている。 	
危機管理能力	<ul style="list-style-type: none"> ・日々の業務において、一連の危機対応方針・計画を意識するとともに、子どもたちや職場の小さなサインを見落とすことがないよう同僚との意思疎通に努め、必要な報告、改善提案を行っている。 ・また、危機発生時には、管理職の指示の下、同僚の業務をサポートし、迅速な対応を行っている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・日々の業務において、一連の危機対応方針・計画が意識され、子どもたちや職場の小さなサインを見落とすことがないよう教職員との意思疎通に努め、必要な改善提案を行っている。 ・また、危機発生時には、校長・園長の指示の下、教職員の共通理解と共通実践に向け、校務を整理し、的確かつ迅速な対応を行っている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・日ごろから、想定されるあらゆる事故の未然防止、事故対応、事後の改善等に向けた一連の危機対応方針・計画を策定し、学校・園内外に周知するとともに、教職員が的確かつ迅速に対応できるよう、準備・確認を行っている。 ・また、危機発生時には、状況を的確に把握・分析し、最終責任者として、判断・調整・決定を的確かつ迅速に行っている。 	

教員育成指標（教育的愛情、使命感や責任感・倫理観、総合的人間力、教職に対する強い情熱・人権意識、主体的に学び続ける姿勢、教科等（保育）や教職に関する専門的な知識・技能、今日的な教育課題への対応力、子ども理解力、生徒指導・進路指導力、学校（園）づくりを担う一員としての自覚と協調性、コミュニケーション能力（対人関係能力を含む）、組織的・協働的な課題対応・解決能力、地域等との連携・協働力、人材育成に貢献する力 等）

Ⅲ 「育成指標」を踏まえた人材育成の取組

道教委では、本指標策定の目的が達成できるよう、教員等の養成・採用・研修の一体的な充実に向けて、「求める教員像」「キーとなる資質能力」を、大学関係者や市町村教育委員会、学校、保護者等と共有し、次の取組を積極的に推進していきます。

1 養成段階

教員養成課程を有する大学において、育成指標に示す「求める教員像」や資質能力等を踏まえた教員養成を促進するため、育成指標を参考にした大学カリキュラムの整備や学生が高い志をもって教職の道を選択することができるようにするための教職魅力啓発の充実について、道教委と大学の取組を推進します。

【道教委の取組】

- 実態把握
 - ・道内の大学を対象とした養成カリキュラム等に関するアンケート調査
 - ・学生の育成指標の認知度や大学カリキュラムへの評価に関するアンケート調査
 - ・「自己診断シート」の活用による学生の資質能力に係る意識調査
- 教職の魅力啓発
 - ・大学生対象：草の根教育実習、道教委職員による大学での教職説明会 等
 - ・高校生対象：教員養成セミナー、インターンシップ 等

2 採用段階

様々な教育課題への対応が求められる学校現場において、子どもへの深い教育的愛情のもと、子どもの学びを支え、可能性やよさを引き出すことができる質の高い教職人材を継続的に確保するため、道内の教育関係者の意見を参考にしながら、育成指標の趣旨を踏まえた教員採用候補者選考の改善・充実を進めます。

【道教委の取組】

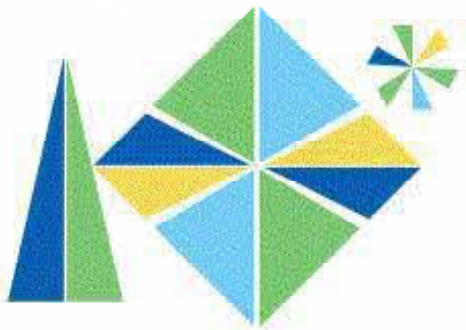
- 教員採用候補選考検査内容の改善
 - ・教員育成協議会での協議
 - ・養成段階、研修段階のアンケート結果分析
 - ・庁内の検討会議 等

3 研修段階

北海道教職員研修計画において、教員が育成指標に示されている資質能力を経験年数や専門性等に応じて高めていくことができる研修体系を整備し、各学校や教員の研修を促進するための情報提供を進めるとともに、客観的な指標を基に、研修の実施状況を把握し、不断の改善を図ります。

【道教委の取組】

- 北海道教職員研修計画による研修体系の整備
 - ・研修履歴を活用した受講奨励の仕組みの構築による主体的な学びの促進
 - ・教員等のニーズに応じた講座・コンテンツの提供による個別最適な学びの充実
 - ・日常の教育活動の充実に向けた協議・演習等の工夫による協働的な学びの充実
- 教員等への情報提供
 - ・「研修Linkナビ」による多様な研修機会の周知
- 育成指標に基づく研修状況の把握
 - ・「自己診断シート」を活用した教員の意識調査（基本研修）
 - ・各校種の校長会・教頭会を対象とした研修ニーズ等のアンケート調査



HOKKAIDO
BOARD OF
EDUCATION